

4 衛 生 費

4,619,996,460円

項 目	ページ
保健衛生費	
保健衛生費……………	344
環境政策費……………	367
葬祭費……………	382
病院事業費……………	384
清掃費	
廃棄物対策費……………	384

衛生費には、市民が健康で衛生的な生活環境を保持するための経費を計上している。

健康面としては、市民の健康の維持増進のため、総合長期計画基本構想に即した「市民が元気で健康なまち」の理念達成のため、諸計画にもとづく健康や食育の施策を推進し、医師会、歯科医師会、薬剤師会等の協力のもと、健康の増進に努めた。

市内の医療体制については、休日・夜間における初期救急医療を継続して実施するとともに、医療機関等と連携し、その構築に努めた。

母子保健事業では、平成30年1月から、妊娠・出産・育児に関する相談にワンストップで対応できる「青梅市子育て世代包括支援センター」を開設した。また、母親学級をはじめ、乳幼児健診等の各種健康診査および相談事業等を実施した。

成人保健事業では、がん検診など各種健康診査や総合健康診査（人間ドック）を引続き実施するとともに、ロコモティブシンドロームや生活習慣病の予防について健康教育を行い、疾病の早期発見、早期治療を促した。

自殺予防対策事業では、橋りょうからの自殺防止を図ることを目的とした橋梁自殺対策協議会を設置・開催した。

予防接種事業では、大人の風しん等予防接種助成事業と併せ、風しん抗体検査事業を継続して実施した。

狂犬病予防事業では、犬の登録および狂犬病予防注射済票の交付事務を実施するとともに、予防注射を受けさせていない飼い主に対して接種勧奨を行った。

平成29年5月1日から、小作駅東口の小作駅北交差点から誠明学園前交差点までの道路を、環境美化推進重点地区および路上喫煙禁止地区に新たに指定した。

墓地公園あり方検討委員会報告書を踏まえ、近年の墓地を取り巻く社会情勢やニーズ等の変化に対応した供給と管理の具体化を図るため、樹林墓地を設置することとし、その基本計画および実施設計業務を実施した。

廃棄物対策については、ごみ情報紙および広報にごみ減量・リサイクルに関する話題などを掲載し、市民のごみ減量・資源リサイクルの取組促進と意識啓発を図り、循環型社会づくりへの啓発普及に努めた。また、使用済のパソコンおよび小型家電について、小型家電リサイクル法の認定事業者と協定を締結し、宅配便を利用した回収を開始した。

ごみ減量啓発事業においては、食品ロス削減に向けフードドライブを実施した。

リサイクルセンター施設については、定期的な点検および改修を行い、安全操業に努めた。また、計量機を増設し、計量の効率化と場内交通の円滑化を図った。

施設見学および出前講座においては、収集されたごみの分別や処理方法、資源化の推進についての説明を行った。

し尿処理施設については、長寿命化計画にもとづく基幹的設備改良工事を開始した。

保 健 衛 生 費

1, 745, 299, 039円

○ 保 健 衛 生 費 (768, 925, 073円)

[健康課]

1 保健衛生事務経費

(1) 青梅市三師会事業補助金 450千円

(一社)青梅市医師会、青梅市歯科医師会、(一社)青梅市薬剤師会の会員によって組織する青梅市三師会に、市民の疾病予防、公衆衛生に関する啓発活動ならびに保健衛生知識の普及向上等のため補助金を交付した。

(2) 青梅市使用済み注射針回収事業補助金 100千円

(一社)青梅市薬剤師会が実施する使用済みの注射針回収事業に要する経費の一部を補助することにより、使用済み注射針の適正な処理を図った。

(3) 精神保健および精神障害者福祉に関する法律による入院同意

精神保健および精神障害者福祉に関する法律第33条の規定による医療保護入院のうち、市長が新たに入院することに同意した者は26人であり、退院等により解除となった者は11人であった。(年度末入院者数85人)

(4) 大気汚染健康障害者医療費助成事務 (単位：件)

区 分		件 数	区 分	件 数
交 付 申 請	新 規	8	医 療 券 等 受 理 報 告 書	5
	更 新	482	医 療 券 再 交 付 申 請 書	7
変 更 届		128	合 計	630

(5) 普通救命講習会 (単位：人)

区 分	第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	第 5 回	合 計
実 施 日	6. 2	9. 5	10.27	12.15	2.16	
受 講 者 数	30	19	15	11	11	86

2 休日等診療経費

(1) 休日および夜間診療

ア 診療業務委託先 (一社)青梅市医師会

イ 診 療 時 間 休日診療 午前9時～午後5時

休日夜間診療 午後5時～午後10時

月曜日から金曜日 午後7時45分～午後10時45分

土曜日 午後6時～午後9時

ウ 場 所 健康センター内青梅休日診療所

エ 診療日数および患者数

(単位：日、人)

区 分	診療 日数	患 者 数			市民・市民以外の別		1日当たり 平均患者数
		大 人	小 人	市 民	市民以外		
休 日 診 療	72	3,784	2,048	1,736	3,493	291	52.6
休日夜間診療	72	1,423	751	672	1,308	115	19.8
平日夜間診療	293	2,040	1,038	1,002	1,902	138	7.0
合 計		7,247	3,837	3,410	6,703	544	

※ 診療日数は実日数である。

(2) 休日歯科診療

- ア 診療業務委託先 青梅市歯科医師会
 イ 診療時間 午前9時～午後5時
 ウ 場 所 健康センター内東青梅休日歯科診療所

エ 診療日数および患者数

(単位：日、人)

診 療 日 数	患 者 数	大 人		小 人		市民・市民以外の別		1日当たり 平均患者数
		大 人	小 人	市 民	市民以外			
72	260	227	33	236	24		3.6	

(3) 休日および夜間診療調剤

- ア 調剤業務委託先 (一社)青梅市薬剤師会
 イ 調剤時間 休日調剤 午前9時～午後5時
 休日夜間調剤 午後5時～午後10時
 月曜日から金曜日 午後7時45分～午後10時45分
 土曜日 午後6時～午後9時
 ウ 場 所 健康センター内青梅休日薬局

エ 調剤日数および患者数

(単位：日、人)

区 分	調剤 日数	患 者 数			市民・市民以外の別		1日当たり 平均患者数
		大 人	小 人	市 民	市民以外		
休 日 調 剤	72	3,260	1,862	1,398	3,000	260	45.3
休日夜間調剤	72	1,470	804	666	1,347	123	20.4
平日夜間調剤	293	1,726	931	795	1,615	111	5.9
合 計		6,456	3,597	2,859	5,962	494	

※ 調剤日数は実日数である。

3 診療所経費

(1) 御岳山診療所

- ア 診療業務委託先 医療法人社団 沢医会
 イ 診療日 週1日
 ウ 診療時間 午後1時30分～午後3時30分

エ 診療日数および患者数 (単位：日、人)

診療日数	患者数		市民・市民以外の別		1日当たり平均患者数
	大人	小人	市民	市民以外	
47	35	0	35	0	0.7

(2) その他診療所

診療所名	所在地	青梅市診療施設契約者
梅郷診療所	青梅市梅郷3-755-1	医師 江本 浩
沢井診療所	青梅市沢井2-850-3	医療法人社団 沢医会
小曾木診療所	青梅市小曾木4-2787-3	医療法人社団 長生会

4 献血推進経費

(1) 献血の実績

市内会場において1,433人の献血があり、これは目標数1,795人に対して79.8パーセントの達成率であった。

(2) 青梅市献血推進協議会

6月29日に市役所議会棟3階大会議室において開催した。

(3) 献血者への記念品贈呈

市内会場での献血者全員に、その都度記念品の贈呈を行った。

5 健康推進事業経費

(1) おうめ健康まつり

「第48回おうめ健康まつり」(主催：青梅市三師会、青梅市、協賛：青梅市接骨師会、東京都獣医師会多摩西支部、薬物乱用防止推進青梅・奥多摩地区協議会、西多摩地区保護司会青梅分区、西東京農業協同組合、青梅市民生児童委員合同協議会)を6月11日(日)に青梅市役所1階エントランスロビーおよび2階会議室等で実施した。

「家族ぐるみの健康づくり」をテーマとし、正しい箸の持ち方PR、歯磨き指導、地場野菜の即売、各種相談、生活習慣病の予防、ヘルスチェック、「美姿勢の秘訣」講座、転倒予防教室および梅っこ体操講習会等を実施するとともに、市立総合病院歯科口腔外科部長黒川英人氏を講師に招き「口の中の病気あれこれ」と題して講演を行い、市民の健康に対する意識の向上に努めた。(延参加者6,302人)

(2) 青梅市健康増進計画推進会議委員

氏名	選出区分	備考
◎ 大木幸子	学識経験者	杏林大学保健学部教授
○ 江本浩	医療保健関係者の代表	(一社) 青梅市医師会会長 (8.31退任)
○ 土田大介	〃	(一社) 青梅市医師会副会長 (9.1就任)
本間祥継	〃	青梅市歯科医師会副会長
岩浪登	〃	(一社) 青梅市薬剤師会会長
小林啓子	〃	西多摩保健所地域保健推進課長
菊池一夫	企業関係者の代表	(株) クレアンスメアード代表取締役
高橋正	市民団体の代表	青梅市自治会連合会会長 (8.31退任)
宮口泉	〃	青梅市自治会連合会副会長 (9.1就任)
吉澤政弘	〃	青梅市スポーツ推進委員協議会副会長
石上憲志郎	公募の市民	(8.31退任)
永井寅一	〃	(9.1就任)

任期：平成29年9月1日～平成31年8月31日 ◎は会長、○は副会長

なお、10月27日および2月8日に推進会議を開催した。

(3) 自殺予防対策事業

ア 講座の開催

内容	講師	実施日	参加人数	会場
ゲートキーパー養成講座（全3回） 「こころの聴き方講座」	臨床心理士	11.28	47人	市役所
		12.8	38人	
		12.15	39人	

イ 啓発

広報おうめや市ホームページで自殺予防を周知するとともに、河辺駅北口での街頭キャンペーンやおうめ健康まつり、産業観光まつりにおいても啓発に努めた。

さらに、平成23年9月に導入した、心の状態を自己認知できるメンタルチェックシステム「こころの体温計」について市民の周知を図り、引き続き活用した。

6 母子保健事業

(1) 妊娠届出書の受理・母子健康手帳の交付 (単位：件)

区分	健康課	市民課 (夜間窓口)	出張所				合計
			梅郷	沢井	小曾木	成木	
妊娠届出書の受理	705	16	1	1	0	0	723
母子健康手帳の交付	735	16	1	1	0	0	753

(2) 乳幼児健康相談 (単位：回、件)

区分	期日	回数	相談件数等	場所
乳幼児健康相談	月1回	12	298	健康センター
心理相談	月4～5回	56	334	
合計		68	632	

(歳出 4 衛生費)

(3) 保健指導（健康指導）

（単位：件）

区 分	面 接 相 談	電 話 相 談	計	場 所
妊 婦	801	140	941	健康センター
産 婦	46	619	665	
乳 児	695	780	1,475	
幼 児	1,320	116	1,436	
小学生以上	2	13	15	
合 計	2,864	1,668	4,532	

(4) 栄養・歯科指導

（単位：件）

区 分	面 接 相 談	電 話 相 談	計	場 所
栄 養 指 導	7	37	44	健康センター
歯 科 指 導	6	6	12	

(5) 母親（両親）学級

親となる心構えを伝えるとともに、安心して出産ができるよう、妊娠中の不安の解消を図った。

また、乳幼児の健康保持増進のために、必要な指導および助言を行った。

（単位：人）

区 分	実 施 回 数	参 加 者 延 数	場 所
プレママクラス（母性科）	年 8 コース	388	健康センター
ステップクラス（乳 児）	年 3 コース	178	
ステップクラス（幼 児）	年 3 コース	180	
合 計	年 14 コース	746	

(6) 母親学級卒業生の保育園見学実習

核家族化・少子化が進み、育児を学習する機会が少なくなっている母親の育児不安を軽減し「母親の育児力」を向上させるために、保育園の協力により、見学実習を2保育園で実施した。

（単位：回、人）

見学実習場所	実施回数	参加者数	見学実習場所	実施回数	参加者数
新町西保育園	3	12	青梅梨の木保育園	3	3

(7) 妊婦食教室・離乳食教室・幼児食教室

幼児食教室において託児を実施し、参加者増を図った。

（単位：回、人）

区 分	妊婦食教室	離 乳 食 教 室			幼 児 食 教 室
		初 期	中 期	後 期	
対 象	妊 婦	母 親 等 と 4～5か月児	母 親 等 と 6～7か月児	母 親 等 と 8～9か月児	2～5歳位の 幼児を持つ母親等
実 施 回 数	1	9	4	3	5
参 加 者 数	1	218	112	67	20

(8) 夏休みこども料理教室

実施日	実施場所	参加者数	実施日	実施場所	参加者数
8.2	東青梅市民センター	26人	8.15	新町市民センター	20人

(9) 食育事業

ア 親子食育講座（親子クッキング）

実施日	実施場所	参加者数	実施日	実施場所	参加者数
6.17	新町市民センター	21人	11.18	河辺市民センター	16人

イ 市民食育講演会

実施日	実施場所	講師	テーマ	参加者数
3.21	市役所 2階会議室	帝京科学大学教育人間科学部 幼児保育学科 学科長 上田 玲子 氏	子どもの食と栄養について～楽しく 食べる子どもに成長するには～	35人

ウ 食育推進会議

氏名	選出区分	備考
◎ 田中 弘之	学識経験者	東京家政学院大学教授
○ 高野 真	医療保健関係者の代表	青梅市歯科医師会副会長
森 泉 旬子	〃	西多摩保健所生活環境安全課長
加藤 信也	農業関係者の代表	青梅市農業委員会委員 (8.31退任)
大越 文男	〃	青梅市農業委員会委員 (9.1就任)
青木 広	〃	西東京農業協同組合代表理事常務
嶋崎 雄幸	企業関係者の代表	嶋崎税務会計事務所副所長
鈴木 直美	〃	生活協同組合コープみらい 8ブロック委員会 ブロック委員
高橋 章次	教育関係の代表	市立第二中学校校長 (8.31退任)
武下 正弘	〃	市立友田小学校校長 (9.1就任)
長塩 信子	〃	青梅みどり第二保育園園長 (8.31退任)
園田 陽子	〃	梅郷保育園園長 (9.1就任)
佐藤 照代	公募の市民	(8.31退任)
高橋 陽子	〃	〃
小柳津 みどり	〃	(9.1就任)

任期：平成29年9月1日～平成31年8月31日 ◎は会長、○は副会長

なお、10月26日および2月22日に推進会議を開催した。

(10) ブックスタート事業

生後4か月までの赤ちゃんを全戸訪問する「こんにちは赤ちゃん事業」を実施の際に、絵本を配付した。

対象件数 (平成29年2月～平成30年1月出生分)	訪問数	絵本配付数
805件	805件	792冊

(歳出 4 衛生費)

(11) 乳幼児健康診査

乳幼児を対象に、身体発育および精神発達に必要な健康診査を実施することにより、適正な指導を行い、1歳6か月児健康診査ではむし歯予防等に関する指導を行った。

なお、健康診査の結果、必要な方には経過観察健康診査等を紹介した。

(単位：回、人、%)

区 分	回 数	対象人員	実施人員	受診率	健 診 結 果	
3～4か月児 健康診査	24 〔 毎 月 第 1・3 水 曜 日 〕	756	752	99.5	異常なし	520
					問題あり	92
					個別相談他	190
6～7か月児 健康診査	随 時 〔 医療機関 委 託 〕	756	718	95.0	異常なし	683
					問題あり	15
					疑い	20
9～10か月児 健康診査	随 時 〔 医療機関 委 託 〕	756	714	94.4	異常なし	692
					問題あり	8
					疑い	14
1歳6か月児 健康診査	24 〔 毎 月 第 1・3 金 曜 日 〕	875	855	97.7	異常なし	673
					問題あり	91
					個別相談他	136
1歳6か月児 歯科健康診査	〔 毎 月 第 1・3 金 曜 日 〕	875	854	97.6	異常なし	228
					要指導	478
					要観察	139
					要医療	9
3 歳 児 健康診査	24 〔 毎 月 第 1・3 火 曜 日 〕	927	898	96.9	異常なし	678
					問題あり	117
					個別相談他	147
3 歳 児 歯科健康診査	〔 毎 月 第 1・3 火 曜 日 〕	927	898	96.9	異常なし	223
					要指導	388
					要観察	205
					要医療	82

※ 健診結果は同一人が複数項に該当する場合がある。

(12) 妊産婦健康診査

妊婦の健康管理に努め、妊産婦および乳児の死亡率の低下を図るとともに、流・早産、妊娠高血圧症候群、子宮内胎児発育遅延の防止等、母・児の障害予防を目的に東京都内医療機関に委託し、妊婦健康診査・超音波検査と子宮頸がん検査を実施した。

一方、妊娠高血圧症候群や妊娠中の貧血の後遺症を早期発見し、適切な治療につなげることを目的に、3～4か月児健康診査と同時に産婦健康診査を実施した。

ア 妊婦健康診査

医療機関へ委託のため、随時受診

(単位：人、週)

区 分	実施人員	平均受診週数	健 診 結 果 数		区 分	実施人員	平均受診週数	健 診 結 果 数	
1回目	673	11.1	異常なし	644	9回目	675	32.2	異常なし	636
			異常あり	29				異常あり	39
2回目	689	13.2	異常なし	673	10回目	659	34.1	異常なし	614
			異常あり	16				異常あり	45
3回目	685	16.7	異常なし	668	11回目	635	35.7	異常なし	605
			異常あり	17				異常あり	30
4回目	703	20.2	異常なし	682	12回目	570	36.9	異常なし	541
			異常あり	21				異常あり	29
5回目	698	23.5	異常なし	675	13回目	445	37.8	異常なし	428
			異常あり	23				異常あり	17
6回目	692	26.1	異常なし	650	14回目	299	38.5	異常なし	288
			異常あり	42				異常あり	11
7回目	697	28.2	異常なし	668	超音波	666	27.7	異常なし	656
			異常あり	29				その他	10
8回目	687	30.2	異常なし	646	子宮頸がん	570	10.7	異常なし	555
			異常あり	41				その他	15

イ 産婦健康診査

(単位：回、人、%)

回 数	対象人員	実施人員	受 診 率	助 産 師 検 査		
24 （ 3 ～ 4 か 月 児 健 診 と 同 時 実 施 ）	752	748	99.5	尿 検 査	実 施 人 員	35
					異 常 な し	29
					た ん ぱ く ・ 糖 陽 性	6
				血 圧 測 定	実 施 人 員	34
					異 常 な し	28
					境 界 域	1
					低 血 圧	4
				高 血 圧	1	

ウ 里帰り等妊婦健康診査

都外および助産所において、妊婦健康診査を行った者に対して受診費助成事業を行った。

(単位：人)

区 分	申請人員	区 分	申請人員	区 分	申請人員
1 回目	18	7 回目	35	13 回目	58
2 回目	21	8 回目	46	14 回目	47
3 回目	23	9 回目	53	子宮頸がん	16
4 回目	22	10 回目	68	超 音 波	27
5 回目	25	11 回目	72		
6 回目	31	12 回目	71		

(歳出 4 衛 生 費)

(13) 乳幼児経過観察・発達健康診査

乳幼児健康診査等により、発育不全や運動発達遅滞等の疑いがある乳幼児に対して小児科および小児神経学の立場から、適切な指導等育児支援を行い、障害の早期発見や早期療育に努めた。

ア 経過観察健康診査

(単位：回、人、%)

回数	対象人員	実施人員			健診結果	
24 〔毎月第2・4火曜日〕	365	総数	初診者	再診者	初診者の 有所見者	初診者の 有所見率
		354	351	3	22	6.2

イ 発達健康診査

(単位：回、人)

回数	対象人員	実施人員			初診者の有所見者数	
		総数	初診者	再診者		
12 〔毎月第2火曜日〕	67	54	37	17	異常なし	0
					精密健診	11
					受診勧奨	1
					他機関管理中	0
					経過観察	21
					一時的指導	4

(14) 精密健康診査

各種健康診査の結果、疾病等の疑いがある者に対し、より精密な健康診査を行うために受診票を交付し、専門医療機関を紹介した。

ア 受診票発行状況

(単位：件)

区分	合計	妊婦	乳児	1歳6か月児	3歳児一般	3歳児力視	3歳児聴覚
発行数	72	0	14	10	11	37	0

イ 受診結果

(単位：件)

区分	合計	異常なし	経過観察	要治療	要手術
受診者	56	12	42	2	0

(15) 新生児等訪問指導

妊産婦が安心して出産や育児に取り組むことができるよう支援するとともに、新生児の発育、栄養、生活環境、疾病・事故予防等の育児上重要な事項について家庭訪問のうえ適切な指導を行い、疾病や異常の早期発見・早期治療について助言した。

(単位：件)

区分	合計	妊婦	産婦	新生児	乳児	幼児	小学生以上
件数	953	37	388	328	76	124	0

(16) 妊婦 歯科健康診査

妊婦の歯科疾患の早期発見と、妊婦の歯科保健意識や健康観の向上を図った。

(単位：回、人、%)

回数	申込人員	実施人員	受診率	健診結果人数	
6	66	58	87.9	異常なし	9
				要指導	8
				要歯石除去	13
				要治療	28

(17) 幼児 歯科健康診査 (予防処置)

2歳児と2歳6か月児を対象に、健康診査、指導および予防処置を行った。

(単位：回、人、%)

区分	回数	申込人員	実施人員	受診率	健診結果人数	
歯科健康診査	24 (毎月第2・4木曜日)	1,345	1,058	78.7	むし歯なし	1,025
					むし歯あり	33
予防処置		1,058	991	93.7	-	

区分	回数	申込人員	受講者数	受講率
歯科健康教育	24回	1,055人	999人	94.7%

※ 予防処置と同時実施

(18) むし歯予防教室

歯が生え始める8か月から12か月までの乳児と母親等と、永久歯が生え始める5歳児を対象に、むし歯予防教室を実施した。

(単位：回、人)

区分	実施回数	参加者数	場所
むし歯予防教室	12	133	健康センター
5歳児むし歯予防教室	1	22	市役所(健康まつり)
	1	10	河辺市民センター

(19) 低体重児の届出

体重2,500グラム未満の乳児の出生に伴う届出を受理した。

受理件数 64件

(20) 未熟児の訪問指導

養育上必要があると認める未熟児に対し、訪問指導を行った。

訪問件数 27件

(21) 未熟児養育医療給付

養育のため病院または診療所に入院することを必要とする未熟児に対し、その養育に必要な医療給付事業を行った。

認定件数 18件 給付額 5,535千円

(歳出 4 衛生費)

(22) 小児慢性特定疾病医療費助成制度

小児慢性特定疾病医療受給者証の交付申請等の受付事務を行った。

(単位：件)

区 分	件 数	区 分	件 数
交 付 申 請	83	変 更 届	11
重 症 申 請	0	医 療 券 等 受 理 報 告 書	11
再 交 付 申 請	0	合 計	105

(23) 小児慢性特定疾病児童日常生活用具給付

小児慢性特定疾病児童に対し、日常生活に必要な用具の給付を行った。

認定件数 1件 給付額 152千円

(24) 出産・子育て応援事業

妊娠期から出産期に合わせて、子育て家庭に対して保健師等が面接を実施し、育児パッケージの贈呈を行った。

贈呈対象件数 780件

(25) 子育て世代包括支援センター

平成30年1月から、妊娠・出産・子育てについての総合窓口として、保健師や助産師等の資格を持つ「母子保健コーディネーター」が常駐し、安心して妊娠・出産・子育てができるようサポート事業を開始した。

(単位：件)

妊婦面接数		妊 婦		産 婦		子育て期
妊娠届出時	転入時	電話相談	面接相談	電話相談	面接相談	電話相談
173	14	20	136	27	17	65

7 成人保健事業

(1) 健康教育

生活習慣病の予防とその他の健康増進に関する正しい知識の普及啓発を図り、市民の健康の保持増進に資することを目的とし、健康教育事業を実施した。

ア 集団健康教育事業

(単位：人)

内 容		講 師	実施日	参加人数	会 場
高血圧症予防	講義	医師	5.18	32	市役所
		管理栄養士	5.24	33	
糖尿病予防	講義	医師	11.1	35	市役所
		管理栄養士	11.2	40	
脂質異常症予防	講義	医師	1.25	59	市役所
		管理栄養士	1.30	52	
女性のための健康づくり	講義	医師	7.14	43	市役所
男性のための健康づくり	講義	医師	7.20	38	

内 容		講 師	実施日	参加人数	会 場
体幹トレーニング 教室	運動実践指導	運動指導員	4.18	23	健康センター
			7.18	20	
			10.17	22	
骨粗しょう症予防	講義	医師	8.31	82	市役所
		管理栄養士	9.6	69	
	運動実践指導	運動指導員	9.19	21	健康センター
	保健指導 パネル展示 フードモデル展示	保健師 管理栄養士	6月～7月 (全10回)	○929	
ロコモティブシン ドローム予防	運動実践指導	運動指導員 保健師	5月～3月 (全11回)	○250	新町市民セン ター体育館
ヘルスアップ教室	運動実践指導	運動指導員 保健師	4月～9月 (全12回)	○148	健康センター
			10月～3月 (全11回)	○131	

※ ○印は延べ人数

※ 運動実践指導は、運動に関する講話も含む。

イ フォローアップ指導事業

(単位：人)

内 容		講 師	実施期間	延べ 人数	会 場
糖尿病予防	講義	医師	11月～12月 (全8回)	40	市役所 健康センター
	講義・個別指導	管理栄養士			
	講義・個別指導	保健師			
	講義	歯科衛生士			
	運動実践指導	運動指導員			
脂質異常症予防	講義	医師	1月～3月 (全9回)	48	市役所 健康センター 等
	講義・個別指導・ 調理実習	管理栄養士			
	講義・個別指導	保健師			
	講義	歯科衛生士			
	運動実践指導	運動指導員			

※ 運動実践指導は、運動に関する講話も含む。

ウ 啓発事業

(単位：人)

内 容	実施期間	延べ人数	会 場
各種がんの予防	6、7、10月 (16日間)	2,836	健康センター
生活習慣病の予防	9月 (10日間)	491	市役所
女性の健康づくり	3月 (6日間)	271	市役所

(2) 健康相談

健康に関する個別の相談に応じ、必要な助言および支援を行うことにより、市民の健康管理に資することを目的とし、健康相談を実施した。

(歳出 4 衛 生 費)

ア 個別相談

(単位：回、人)

内 容	担 当	回 数	相談件数	会 場
健 康 相 談	医 師 保 健 師	40	973	健 康 セ ン タ ー 中 央 図 書 館 等
人 間 ド ッ ク 時 健 康 相 談	医 師 保 健 師	59	375	健 康 セ ン タ ー 等
栄 養 相 談	管理栄養士	21	301	健 康 セ ン タ ー 等
合 計		120	1,649	

イ その他の相談

面接相談 61件 電話相談 135件

(3) 検診（健診）事業

生活習慣病の予防や疾病の早期発見、早期治療を促すため、検診（健診）事業を実施した。

ア 受診勧奨

20歳、25歳、30歳、35歳、40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳、70歳の市民を対象として、はがきにより各種検診の勧奨を行った。

勧奨者数 19,365人

イ 血清クレアチニンおよび尿酸検査

慢性腎臓病の早期発見のため、特定健康診査等と同時に実施した。

受診者数 23,369人

ウ 健康診査

(ア) 実施期間 6月1日から10月31日まで

(イ) 対象者 40歳以上の者のうち、生活保護や中国残留邦人の支援給付を受けている者

(ウ) 実施場所 市内41医療機関

(エ) 検査項目 問診、身体測定、血圧測定、尿検査、血液検査、心電図、眼底

(オ) 年齢別受診者数および判定結果

(単位：歳、人、%)

年 齢 区 分		40～49		50～59		60～69		70以上		合 計	
受 診 者 数	男	5		13		15		18		51	156 (100.0)
	女	9	14	7	20	24	39	65	83	105	
異 常 な し	男	0		1		3		0		4	12 (7.7)
	女	1	1	1	2	3	6	3	3	8	
要 指 導	男	2		2		1		2		7	27 (17.3)
	女	5	7	1	3	5	6	9	11	20	
要 医 療	男	3		10		11		16		40	116 (74.3)
	女	3	6	5	15	16	27	52	68	76	

※ 合計欄の（ ）内の数字は受診者数に対する割合である。

※ 受診者のうち1人結果が出る前に亡くなったため、受診者数≠異常なし+要指導+要医療となっている。

エ 総合健康診査（人間ドック）

健康維持と生活習慣病の早期発見のため、30歳以上の者を対象に、健康センターにおいて実施した。

(ア) 実施日数および受診者内訳 (単位：歳、日、人)

コース	区分	実施日数	受診者数	年齢別内訳					備考
				30～39	40～49	50～59	60～69	70以上	
A	男	30	542	27	47	51	213	204	男性 火曜日 30日
	女	30	399	38	40	61	153	107	
	計	60	941	65	87	112	366	311	
B	男	30	176	22	37	24	54	39	女性 金曜日 30日
	女	30	323	55	92	66	80	30	
	計	60	499	77	129	90	134	69	
合計			1,440	142	216	202	500	380	

(イ) 総合健康診査の利用者の選択により、有料で血中抗ヘリコバクター・ピロリ抗体検査を前年度に引き続き実施した。

受診者数 628人

(ウ) 居住地区別受診者数 (単位：人、%)

コース	区分	市内在住者	市内在勤者	その他	受診者数
A	男	524	16	2	542
	女	396	0	3	399
	計	920	16	5	941
B	男	155	21	0	176
	女	298	25	0	323
	計	453	46	0	499
合計		1,373 (95.4)	62(4.3)	5(0.3)	1,440(100.0)

※ 合計欄の（ ）内の数字は受診者数に対する割合である。

(エ) 総合判定成績 (単位：人、%)

区分	異常なし	心配なし	要指導	要経過観察	要再検査	要精密検査	要治療	要医療	判定不能	受診者数
A	男	1	1	22	390	12	111	5	0	542
	女	0	1	5	319	10	60	4	0	399
	計	1	2	27	709	22	171	9	0	941
B	男	2	5	20	126	2	17	3	1	176
	女	3	10	38	221	4	44	3	0	323
	計	5	15	58	347	6	61	6	1	499
合計	6 (0.4)	17 (1.2)	85 (5.9)	1,056 (73.3)	28 (2.0)	232 (16.1)	15 (1.0)	1 (0.1)	0 (0.0)	1,440 (100.0)

※ 合計欄の（ ）内の数字は受診者数に対する割合である。

(歳出 4 衛生費)

オ 骨密度検診

(ア) 実施期間 6月23日から7月3日のうち5日間

(イ) 対象者 18歳以上の女性

(ウ) 実施場所 健康センター

(エ) 年齢別受診者数および判定結果 (単位：歳、人、%)

年齢区分	18~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70以上	合計
受診者数	6	20	55	172	379	297	929 (100.0)
異常なし	6	19	50	119	85	21	300 (32.3)
要指導	0	1	5	42	139	80	267 (28.7)
要精密検査	0	0	0	11	155	196	362 (39.0)

※ 合計欄の () 内の数字は受診者数に対する割合である。

カ 胃がん検診

(ア) 実施期間

a 6月12日から7月19日までのうち8日間

b 10月2日から10月30日までのうち8日間

(イ) 対象者 35歳以上の者

(ウ) 実施場所 健康センター

(エ) 年齢別受診者数および判定結果 (単位：歳、人、%)

年齢区分	35~39		40~49		50~59		60~69		70以上		合計		
受診者数	男	11		34		32		147		304		528	1,289 (100.0)
	女	12	23	103	137	123	155	259	406	264	568	761	
異常なし	男	11		34		30		137		277		489	1,207 (93.6)
	女	12	23	101	135	121	151	245	382	239	516	718	
要精密検査	男	0		0		2		10		27		39	82 (6.4)
	女	0	0	2	2	2	4	14	24	25	52	43	

※ 合計欄の () 内の数字は受診者数に対する割合である。

(オ) 精密検査受診結果 (単位：人、%)

対象者数	受診者数	結 果		
		異常なし	が ん	そ の 他
82	68 (100.0)	50 (73.5)	1 (1.5)	17 (25.0)

※ () 内の数字は受診者数に対する割合である。

キ 子宮頸がん検診

(ア) 実施期間 10月1日から3月31日まで

(イ) 対象者 20歳以上で前年度検診を受診していない女性

(ウ) 実施場所 市内4医療機関

(エ) 年齢別受診者数および判定結果

(単位：歳、人、%)

年齢区分	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70以上	合計
受診者数	61	171	399	438	542	286	1,897 (100.0)
異常なし	58	164	396	430	539	283	1,870 (98.6)
要精密検査	3	7	3	8	2	2	25 (1.3)
判定不能	0	0	0	0	1	1	2 (0.1)

※ 合計欄の () 内の数字は受診者数に対する割合である。

(オ) 精密検査受診結果

(単位：人、%)

対象者数	受診者数	結 果			
		異常なし	が ん	がんの疑い	そ の 他
25	14 (100.0)	4 (28.6)	1 (7.1)	0 (0.0)	9 (64.3)

※ () 内の数字は受診者数に対する割合である。

ク 乳がん検診

(ア) 実施期間 10月1日から3月31日まで

(イ) 対象者 40歳以上で前年度検診を受診していない女性

(ウ) 実施場所 健康センター、市内1医療機関および市外2医療機関

(エ) 年齢別受診者数および判定結果

(単位：歳、人、%)

年齢区分	40～49	50～59	60～69	70以上	合計
受診者数	438	487	687	362	1,974 (100.0)
異常なし	391	450	644	343	1,828 (92.6)
再検査	20	10	13	2	45 (2.3)
要精密検査	27	27	30	17	101 (5.1)

※ 合計欄の () 内の数字は受診者数に対する割合である。

(オ) 精密検査受診結果

(単位：人、%)

対象者数	受診者数	結 果		
		異常なし	が ん	そ の 他
101	68 (100.0)	38 (55.9)	7 (10.3)	23 (33.8)

※ () 内の数字は受診者数に対する割合である。

ケ 肺がん検診

(ア) 実施期間

a 6月12日から7月19日までのうち8日間

b 10月2日から10月30日までのうち8日間

(イ) 対象者 40歳以上の者

喀痰検査は、50歳以上で喫煙指数（1日当たりの喫煙本数×喫煙年数）が600を超える者

(ウ) 実施場所 健康センター

(歳出 4 衛 生 費)

(エ) 年齢別受診者数および判定結果

(単位：歳、人、%)

年齢区分		40～49		50～59		60～69		70以上		合計	
受診者数	男	35	140	29	155	172	521	373	731	609	1,547 (100.0)
	女	105		126		349		358		938	
異常なし	男	35	140	29	154	170	518	366	717	600	1,529 (98.8)
	女	105		125		348		351		929	
要精密検査	男	0	0	0	1	2	3	7	14	9	18 (1.2)
	女	0		1		1		7		9	

※ 合計欄の () 内の数字は受診者数に対する割合である。

(オ) 喀痰検査

(単位：歳、人、%)

年齢区分		40～49		50～59		60～69		70以上		合計	
喀痰検査 受診者数	男	0	0	7	11	31	38	45	46	83	95 (100.0)
	女	0		4		7		1		12	
異常なし	男	0	0	7	11	31	38	45	46	83	95 (100.0)
	女	0		4		7		1		12	

※ 合計欄の () 内の数字は受診者数に対する割合である。

(カ) 精密検査受診結果

(単位：人、%)

対象者数	受診者数	結 果		
		異常なし	が ん	そ の 他
18	16 (100.0)	6 (37.5)	0 (0.0)	10 (62.5)

※ () 内の数字は受診者数に対する割合である。

コ 大腸がん検診

(ア) 実施期間 6月1日から12月10日まで

(イ) 対象者 40歳以上の者

(ウ) 実施場所 市内41医療機関

(エ) 年齢別受診者数および判定結果

(単位：歳、人、%)

年齢区分		40～49		50～59		60～69		70以上		合計	
受診者数	男	371	911	440	1,245	1,659	4,456	4,531	10,576	7,001	17,188 (100.0)
	女	540		805		2,797		6,045		10,187	
陰 性	男	354	870	417	1,194	1,533	4,192	4,005	9,562	6,309	15,818 (92.0)
	女	516		777		2,659		5,557		9,509	
陽 性	男	16	39	22	50	125	257	511	977	674	1,323 (7.7)
	女	23		28		132		466		649	
検体不良	男	1	2	1	1	1	7	15	37	18	47 (0.3)
	女	1		0		6		22		29	

※ 合計欄の () 内の数字は受診者数に対する割合である。

(オ) 精密検査受診結果

(単位：人、%)

対象者数	受診者数	結 果		
		異常なし	が ん	そ の 他
1,323	375 (100.0)	104 (27.7)	18 (4.8)	253 (67.5)

※ () 内の数字は受診者数に対する割合である。

サ 肝炎ウイルス検診

(ア) 実施期間 6月1日から10月31日まで

(イ) 対象者

a 40歳になる者

b 41歳以上で過去に当該検査を受けたことのない者

(ウ) 実施場所 市内41医療機関

(エ) B型肝炎ウイルス検診年齢別受診者数および結果

(単位：歳、人、%)

年齢区分		40～49		50～59		60～69		70以上		合 計	
受診者数	男	34		22		48		57		161	384 (100.0)
	女	56	90	32	54	71	119	64	121	223	
陰 性	男	34		22		47		57		160	383 (99.7)
	女	56	90	32	54	71	118	64	121	223	
陽 性	男	0		0		1		0		1	1 (0.3)
	女	0	0	0	0	0	1	0	0	0	

※ 合計欄の () 内の数字は受診者数に対する割合である。

(オ) C型肝炎ウイルス検診年齢別受診者数および結果

(単位：歳、人、%)

年齢区分		40～49		50～59		60～69		70以上		合 計	
受診者数	男	34		22		48		57		161	384 (100.0)
	女	56	90	32	54	71	119	64	121	223	
感染していない 可能性が高い	男	34		22		48		57		161	384 (100.0)
	女	56	90	32	54	71	119	64	121	223	
感染している 可能性が高い	男	0		0		0		0		0	0 (0.0)
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

※ 合計欄の () 内の数字は受診者数に対する割合である。

シ 成人歯科検診

(ア) 実施期間 9月1日から11月30日まで

(イ) 対象者 20歳、25歳、30歳、35歳、40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、
65歳、70歳の者

(ウ) 実施場所 市内42医療機関

(歳出 4 衛 生 費)

(エ) 年齢別受診者数および結果

(単位：歳、人、%)

年齢区分		20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	合計
受診者数	男	5	2	6	16	9	12	14	17	15	25	48	169
	女	6	10	13	14	13	13	30	27	23	42	44	235
	計	11	12	19	30	22	25	44	44	38	67	92	404 (100.0)
異常なし	男	0	1	0	2	1	2	2	1	1	1	2	13
	女	0	1	3	1	2	0	2	5	2	1	5	22
	計	0	2	3	3	3	2	4	6	3	2	7	35 (8.7)
要指導	男	1	0	1	1	0	2	0	2	1	1	2	11
	女	1	2	2	2	1	2	0	1	1	3	2	17
	計	2	2	3	3	1	4	0	3	2	4	4	28 (6.9)
要精密検査	男	4	1	5	13	8	8	12	14	13	23	44	145
	女	5	7	8	11	10	11	28	21	20	38	37	196
	計	9	8	13	24	18	19	40	35	33	61	81	341 (84.4)

※ 合計欄の () 内の数字は受診者数に対する割合である。

ス がん検診推進事業

(ア) 実施期間

- a 子宮頸がん検診 9月1日から2月28日まで
 b 乳がん検診 9月1日から3月31日まで

(イ) 対象者

- a 子宮頸がん検診 20歳の女性
 b 乳がん検診 40歳の女性

(ウ) 実施場所

- a 子宮頸がん検診 市内3医療機関
 b 乳がん検診 健康センター、市内2医療機関、市外2医療機関

(エ) 年齢別受診者数および判定結果

a 子宮頸がん検診

(単位：人、%)

対象者数	受診者数	異常なし	再検査	要精密検査	判定不能
655	60 (100.0)	59 (98.3)	0 (0.0)	1 (1.7)	0 (0.0)

※ 合計欄の () 内の数字は受診者数に対する割合である。

b 乳がん検診

(単位：人、%)

対象者数	受診者数	異常なし	再検査	要精密検査
811	198 (100.0)	176 (88.9)	9 (4.5)	13 (6.6)

※ 合計欄の () 内の数字は受診者数に対する割合である。

(4) 機能訓練

(単位：人、回)

実人数	回数	延べ人数	会場
—	—	—	健康センター

8 予防

(1) 感染症

ア 消毒業務

感染症消毒業務は該当がなかった。

イ 啓発

インフルエンザ等の感染防止のため、西多摩保健所と連携し、関係各課による予防対策の徹底を図るとともに、広報等により市民への周知と予防に努めた。

(2) 予防接種法にもとづく定期予防接種

ア 集団接種（A類疾病）

1歳に至るまでの乳児を対象に結核（BCGワクチン）予防接種を実施した。

（単位：回、人、％）

区分	実施月	実施回数	委託先	年度対象者	接種者			年度対象者接種率
					年度対象者	その他	計	
一般分	通年	24	長田病院	754	650	83	733	86.2
その他分		—	青梅市立総合病院	—	5	1	6	0.7
計				754	655	84	739	86.9

※ その他分は、集団接種日に接種できなかったもの

※ 接種者の「その他」は、前年度の未接種者および他市等からの依頼接種者

イ 個別接種（A類疾病）

平成30年1月29日から三種混合ワクチンの販売が再開し、同日をもって定期接種における三種混合ワクチンの使用が可能となった。なお、昨年度に引き続き、子宮頸がん予防ワクチンの積極的勧奨が差し控えられた。

（単位：機関、人、％）

種別	該当者	医療機関	回別	年度対象者	接種者			年度対象者接種率	
					年度対象者	その他	計		
麻しん・風しん	1期 12か月～24か月に至るまでの間にある者	29	1回式	812	混合ワクチン	694	118	812	85.5
					麻しん単独ワクチン	0	0	0	
					風しん単独ワクチン	0	0	0	
					計	694	118	812	
麻しん・風しん	2期 5歳～7歳未満の者で小学校入学前の1年間	29	1回式	977	混合ワクチン	843	10	853	86.3
					麻しん単独ワクチン	0	0	0	
					風しん単独ワクチン	0	0	0	
					計	843	10	853	

（歳出 4 衛生費）

(単位：機関、人、%)

種 別	該 当 者	医療機関	回 別		年 度 対 象 者	接 種 者			年 度 対 象 者 接 種 率	
						年度対象者	その他	計		
日本脳炎	1 期 初回	6か月～90か月に至るまでの間にある者	29	2 回 式	1回目	877	628	406	1,034	71.6
					2回目	877	500	498	998	57.0
	1 期 追加		1回式	607	509	501	1,010	83.9		
	2 期	9歳～13歳未満		1回式	2,029	490	567	1,057	24.1	
三種混合	1 期 初回	3か月～90か月に至るまでの間にある者	0	3 回 式	1回目	0	0	0	0	0
					2回目	0	0	0	0	0
3回目					0	0	0	0	0	
	1 期 追加			1回式	0	0	0	0	0	
不活化ポリオ	1 期 初回	3か月～90か月に至るまでの間にある者	26	3 回 式	1回目	0	0	0	0	0
					2回目	0	0	6	6	0
3回目					0	0	9	9	0	
	1 期 追加			1回式	12	5	17	22	41.7	
四種混合	1 期 初回	3か月～90か月に至るまでの間にある者	27	3 回 式	1回目	742	711	77	788	95.8
					2回目	742	632	128	760	85.2
3回目					742	535	234	769	72.1	
	1 期 追加			1回式	796	608	306	914	76.4	
二種混合	2 期	11歳～13歳未満	29	1回式	1,050	335	467	802	31.9	
ヒ ブ	初回	2か月～60か月に至るまでの間にある者	25	1回目	744	716	80	796	96.2	
				2回目	744	629	130	759	84.5	
3回目				744	535	189	724	71.9		
	追加			1回式	754	654	173	827	86.7	
小児用肺炎球菌	初回	2か月～60か月に至るまでの間にある者	25	1回目	744	714	80	794	96.0	
				2回目	744	624	135	759	83.9	
3回目				744	527	197	724	70.8		
	追加			1回式	734	636	188	824	86.6	
子宮頸がん		小学6年生～高校1年生相当年齢の女子	26	3 回 式	1回目	0	0	2	2	0
					2回目	0	0	1	1	0
					3回目	0	0	1	1	0
水痘		12か月～36か月に至るまでの間にある者	27	1回目	813	672	155	827	82.7	
				2回目	813	251	491	742	30.9	
B 型 肝 炎		1歳に至るまでの間にある者	28	1回目	744	704	82	786	94.6	
				2回目	744	622	146	768	83.6	
				3回目	744	306	496	802	41.1	

※ 接種者の「その他」は、前年度までの未接種者および他市等からの依頼接種者

※ 接種者の「年度対象者（日本脳炎）」には、予防接種実施規則にもとづく特例対象者を含む

※ ヒブワクチン・小児用肺炎球菌ワクチンについては、接種開始月年齢によって接種回数異なる

ウ 個別接種（B類疾病）

(ア) 高齢者インフルエンザ

a 期間 10月15日から1月31日まで

b 対象者

希望者のうち次に該当する者

(a) 接種日に満65歳以上の者

(b) 接種日に満60歳以上65歳未満の者で、厚生労働省令で定める程度の障害を有する者

c 実施医療機関数 174機関

d 接種者数

(a) 生活保護受給者（全額公費負担） 623人（障害者5人含む）

(b) 生活保護受給者以外（一部公費負担） 13,855人（障害者25人含む）

(イ) 高齢者肺炎球菌

a 期間 4月1日から3月31日まで

b 対象者

過去に23価肺炎球菌莢膜ポリサッカライドワクチンの接種歴がない青梅市に住所を有する以下の者

(a) 平成29年度中に下表に掲げる年齢に達する者

区分	対象生年月日	区分	対象生年月日
65歳	昭和27年4月2日～昭和28年4月1日	85歳	昭和7年4月2日～昭和8年4月1日
70歳	昭和22年4月2日～昭和23年4月1日	90歳	昭和2年4月2日～昭和3年4月1日
75歳	昭和17年4月2日～昭和18年4月1日	95歳	大正11年4月2日～大正12年4月1日
80歳	昭和12年4月2日～昭和13年4月1日	100歳	大正6年4月2日～大正7年4月1日

(b) 接種日に満60歳以上65歳未満の者で、厚生労働省令で定める程度の障害を有する者

c 実施医療機関数 63機関

d 接種者数

(a) 生活保護受給者（全額公費負担） 90人

(b) 生活保護受給者以外（一部公費負担） 3,488人（障害者0人含む）

(3) 任意予防接種

先天性風しん症候群の発症を予防するため、東京都委託事務である風しん抗体検査事業と併せ、風しん等予防接種助成事業を実施した。

ア 期間 4月1日から3月31日まで

イ 対象者

風しん抗体検査または妊婦健康診査等の結果、風しんに対する抗体価が十分でないことが確認できた妊娠を予定または希望する19歳以上の女性

ウ 接種者数

(単位：人)

麻しん・風しん混合ワクチン接種者数	風しんワクチン接種者数	接種者数合計
33	12	45

(歳出 4 衛生費)

(4) 風しん抗体検査事業

青梅市の風しん等予防接種助成事業と併せ、風しん抗体検査事業を実施した。

ア 期間 4月1日から3月31日まで

イ 対象者

妊娠を予定または希望する19歳以上の女性

ウ 検査結果

(単位：人)

検査方法	受検者数	要予防接種者数(抗体価不十分)	予防接種不要者数
H I 法	28	12	16
E I A 法	16	7	9
合計	44	19	25

(5) B型肝炎ワクチン接種費用助成事業

新規に定期接種に導入されたB型肝炎の経過措置としてB型肝炎ワクチン接種費用助成事業を実施した。

ア 期間 4月1日から9月31日まで

イ 対象者

希望者のうち次の全てに該当する者

(ア) 市の区域内に住所を有していること

(イ) 平成28年4月1日から7月31日生まれの者

(ウ) 予防接種法施行令(昭和23年政令第197号)第1条の3第1項に定める期間内に予防接種を受けることができなかった者(同条第2項に規定する者は除く。)

ウ 接種者数

(ア) 通知郵送者 126人

(イ) 接種者 34人

(6) 青梅市予防接種健康被害調査委員会委員

氏名	選出区分	氏名	選出区分
◎ 横山美貴	医師会の代表	土井京子	医師会の代表
○ 笹本光信		渡部裕之	関係行政機関の職員
成井研治		池田央	副市長

任期：平成29年6月1日～平成31年5月31日 ◎は委員長、○は職務代理者

なお、7月28日に健康センターで委員会を開催した。

(7) 畜犬登録頭数および狂犬病予防注射済票交付数

(単位：頭)

区分	市内各注射会場交付	健康センター窓口交付	合計	再交付
登録頭数	18	384	402	45
注射済票交付数	1,289	4,017	5,306	6

※ 年度末登録頭数 7,415頭

1 生活環境経費

(1) あき地の雑草対策

公共広場等の雑草除去を管理者に依頼した。

また、私有地については調査を行い、条例にもとづいて土地の所有者に対し刈り取るよう指導を行った。そのうち農地については農業委員会へ指導を依頼した。

私有地(農地等を除く)の年間処理結果(4月1日～3月31日)

区 分	指導件数 (A)	刈取り件数 (B)	処理割合 (B/A)
件数 (件)	17	17	100.0 %
面積 (㎡)	328,964	328,964	100.0 %

(2) 公衆便所維持管理

ア 清掃委託

(単位：千円)

清 掃 場 所	委 託 先	金 額	期 間	備 考
青梅駅前 東青梅駅前(南口・北口) 河辺駅前(南口・北口)	(公社)青梅市シルバー 人材センター	5,026	4.1～3.31	火曜日と木曜日を除いた曜日は1日2回、火曜日と木曜日は1日1回清掃
日向和田駅前・御岳駅前 石神前駅前・軍畑駅前	(公社)青梅市シルバー 人材センター	2,892		毎日1回清掃
富岡1丁目都バス折返所	富岡光久	62		週2回清掃
成木7丁目都バス折返所	井田勝	62		
長淵3丁目水泳場脇	下長淵連合自治会 会長 宇津木 順一	116		週3回清掃。 ただし、6～9月は週5回、 4.29から7日間は毎日
畑中2丁目ポンプ場脇	峯岸政夫	62		週2回清掃
柚木町1丁目ポンプ場下	山下広子	62		
柚木町3丁目都バス折返所	黒沼鈴江	62		
千ヶ瀬神社前	千ヶ瀬町第1自治会 会長 河辺清	62		
富岡2丁目乙黒	富岡2丁目自治会 会長 橋本哲夫	62		
黒沢水浴場	黒沢3丁目第1自治会 会長 長谷見和夫	62		
成木1丁目バス停前	成木1丁目自治会 会長 野村政志	62		
成木安楽寺前	金子融弘	62		
成木3丁目バス停前	成木3丁目自治会 会長 土屋喜夫	62		
成木8丁目都バス折返所	青木勇次	62		

(歳出 4 衛生費)

清 掃 場 所	委 託 先	金 額	期 間	備 考
成木6丁目滝成バス停前	野 寄 由美子	62	4.1~3.31	週2回清掃
成木6丁目師沢橋際	成木6丁目自治会 会長 細 田 勇	62		
成木7丁目常盤橋際	成木7丁目自治会極指組 組長 加 藤 利 保	62		
成木8丁目高水山登山口	成木8丁目白岩自治会 組長 白 井 肇	62		
成木8丁目蜷沢院広場	蜷沢院 代表役員 沖 祐 昭	62		
二俣尾3丁目海禅寺前	二俣尾3丁目自治会 会長 須 崎 博 行	123		
合 計		9,211		

イ 保守点検業務委託

(単位：千円)

内 容	委 託 先	点 検 場 所	金 額	期 間	備 考
駅前身障者用公衆便所 自動ドア保守点検	ナブコシステム(株) 西 東 京 支 店	東青梅駅南口 河辺駅南口 河辺駅北口	85	4.1 ~3.31	年2回
東青梅駅北口身障者用公衆便所自動ドア保守点検	寺岡オート・ドアシステム(株)立川営業所	東青梅駅北口	50	4.1 ~3.31	年2回

2 環境対策経費

(1) 環境基本計画の推進

環境基本計画の推進にあたっては、市民団体、事業者等で構成される青梅市環境連絡会において、市民が取り組める環境保全の事業選定を行うとともに、おうめ環境市民会議、おうめ水辺の楽校運営協議会等と全市に向けた協働事業を行った。

ア 青梅市環境審議会委員

氏 名	選 出 区 分	備 考	氏 名	選 出 区 分	備 考
福 田 宗 治	公募による 市 民		久 保 安 宏	事 業 者	
買 手 屋 節 子			西 浦 定 継	学 識 経 験 者	
○ 高 橋 正	各 種 団 体 の 代 表		◎ 小 堀 洋 美		
小 澤 徳 郎			田 中 利 和	関 係 行 政 機 関 の 職 員	
吉 野 好 男	事 業 者		柴 田 修 一		

任期：平成28年11月28日～平成30年11月27日まで ◎は会長、○は副会長

イ 審議会開催状況

開 催 期 日	内 容
10.25	協議事項 生物多様性地域戦略（素案）中間報告 他
1.17	協議事項 生物多様性地域戦略素案の確認 他

(2) 生物多様性の保全の推進

生物多様性の保全の推進のために生物多様性保全協議会を開催するとともに、青梅市生き物調査員設置要綱にもとづき、調査に必要な知識を有する者を生き物調査員として委嘱し、調査を実施した。また、生物多様性についての理解を深めるため、市民を対象にシンポジウムを開催した。

ア 青梅市生物多様性保全協議会委員

氏名	選出区分	備考	氏名	選出区分	備考
大澤健児	公募による 市民		大久保芳木	市の区域内 の生物多様性 の保全等を行 う団体に所属 する者	
佐藤真弓			荒井悦子		
○横田樹広	学識経験また は専門的知識 を有する者		御手洗望		
草野保			◎久保田繁男		
須田真一			川道克祥	関係行政機関 の職員	4. 1就任
三好ゆき江					

任期：平成29年8月19日～平成31年8月18日まで ◎は委員長、○は副委員長

イ 協議会開催状況

開催期日	内容
4. 19	協議事項 平成29年度協議会の進め方と全体スケジュールの確認について 他
7. 20	協議事項 平成29年度協議会の進め方と全体スケジュールの見直し内容について 他
9. 28	協議事項 第6章将来のすがたの確認について 他
11. 17	協議事項 生物多様性地域戦略素案の確認について 他
3. 29	協議事項 生物多様性地域戦略について 他

ウ 生き物調査調査員

氏名	専門分野	備考	氏名	専門分野	備考
須田真一	昆虫	4. 1就任	重昆達也	哺乳類	4. 1就任
三好ゆき江	植物		田畑伊織	哺乳類、鳥類	
大久保芳木	魚類		杉村健一	昆虫	
荒井悦子	鳥類		藤嶋芳男	〃	
御手洗望	哺乳類		八木下潤	〃	
久保田繁男	昆虫		宮川哲男	〃	
桶田太一	〃		笹井剛博	〃	
筒井千代子	植物		児玉拓	植物	
雨宮将人	昆虫		溝口智秋	〃	
御手洗文代	鳥類		和田武久	昆虫	
山口孝	〃				

任期：平成30年3月31日まで

(歳出 4 衛生費)

エ シンポジウム実施状況

実施日	内 容	会 場	対 象	参加者数
1.28	青梅市生物多様性シンポジウム ～地域で守り育む 青梅市の自然の恵み～	市 役 所 2階会議室	市 民	84人

(3) 生物多様性地域戦略の策定

青梅市生物多様性地域戦略策定のために庁内関係部課長で組織する生物多様性地域戦略検討委員会を開催した。

ア 委員会開催状況

開催期日	内 容
5.26	協議事項 平成29年度委員会の進め方と全体スケジュールの確認について 他
7.5	協議事項 平成29年度委員会の進め方と全体スケジュールの見直し内容について 他
8.24	協議事項 生物多様性地域戦略素案1～3章の確認について 他
10.19	協議事項 生物多様性地域戦略素案の確認について 他
12.12	協議事項 生物多様性地域戦略素案の確認について 他

イ 策定業務委託

委託名称	委託内容	契約金額	29年度 支払額	受注者	契約期間
青梅市生物多様性 地域戦略策定等 支援業務委託	青梅市生物多様性 地域戦略の作成ほか	20,628千円	9,720千円	パシフィック コンサル タantz(株)	28.7.25 ～ 30.10.31

(4) 環境保全活動の支援

ア 青梅市環境連絡会との連携による取組

期 日	内 容
5.1～9.30	クールビズ運動
6.21、7.7	夏至ライトダウン、クールアース・デー
8.6～12	打ち水ウィーク 環境部打ち水 7.20 全市一斉打ち水 8.8
11.1～3.31	ウォームビズ運動
通 年	エコドライブ運動

イ おうめ環境市民会議との協働による取組

期 日	内 容 (開催 場 所)	
6.4	体験型ワークショップ (青梅市役所)	おうめ環境 フェスタ2017
6.4	野鳥観察会 (大塚山公園周辺)	
6.1～6.30	市役所ロビー展示 (青梅市役所)	
6.1～6.30	環境図書コーナー (中央図書館)	

期 日	内 容 (開 催 場 所)	
6.10	外来植物（オオブタ草）退治（霞川沿い）	おうめ環境 フェスタ2017
6.11	青梅の森・市民森林体験（青梅の森）	
6.25	講演「タネが危ない ―タネを守ることは、命を守る こと―」（青梅市役所）	
3.15	おうめ環境ニュースの発行	

(5) 環境保全活動の啓発

ア グリーンカーテン事業

事 業 名	内 容
市民モニター事業	42世帯が参加
公共施設緑化事業	本庁舎と11の市民センター、リサイクルセンターの他、 16の小中学校の計29施設で実施
みどりのカーテンコンテスト	青梅ガス株式会社、西東京農業協同組合との協働事業。 個人部門26世帯、団体部門10団体が参加。審査により個人部門最優秀賞3点、優秀賞3点、佳作5点、団体部門最優秀賞、優秀賞、佳作各1点を表彰。

イ 環境月間啓発活動

6月の環境月間の期間中、約1か月にわたり環境フェスタとして各種イベントを開催した。

ウ 青梅市ポイ捨ておよび飼い犬のふんの放置の防止ならびに路上喫煙の制限に関する条例に関する事業

期 日	内 容 (実 施 場 所)
11.4～5	第50回青梅産業観光まつりでのマナーアップキャンペーン (永山公園グラウンド)
5.1、10.16～17、 10.20、10.27、11.2、 3.12～13、3.15～16	駅頭でのマナーアップキャンペーン (JR青梅・東青梅・河辺の3駅および小作駅北交差点周辺)

(6) 環境学習の推進

おうめ水辺の楽校運営協議会

小中学生を対象とした親水事業を実施した。

実施日	事 業 名	協 働 団 体
5.14	がんばれ！あゆっ子2017	NPO法人奥多摩川友愛会
7.8	じゃぶじゃぶ川で遊んじゃおー	霞川くらしの楽校
7.9	ガサガサ水辺の探検隊	青梅・多摩川水辺のフォーラム
7.22	いかだで遊ぼう in 霞川 (Part 9)	霞川くらしの楽校
8.23	第9回炭焼き体験と水辺の交流会	美しい多摩川フォーラム
9.10	多摩川まるごと遊び塾	青梅・多摩川水辺のフォーラム
10.14	お魚つりに挑戦	霞川くらしの楽校
11.19	親子魚釣り教室2017	NPO法人奥多摩川友愛会

(歳出 4 衛 生 費)

(7) 地球温暖化対策実行計画

青梅市の行う事務および事業に関し、地球温暖化対策の推進に関する法律で規定する温室効果ガス（二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、ハイドロフルオロカーボン）を調査した。

ア CO₂換算温室効果ガス排出量 (単位：kg-CO₂)

種 類	CO ₂ (二酸化炭素)	CH ₄ (メタン)	N ₂ O (一酸化二窒素)	HFC (ハイドロフル オロカーボン)	合 計	
施設	22年度 (基準年度)	8,295,636.3	1,706.7	1,186.0	—	8,298,529.0
	29年度	9,790,843.4	1716.3	1,086.6	—	9,793,646.3
	増 減	1,495,207.1	9.6	△99.4	—	1,495,117.3
	増 減 率	18.0%	0.6%	△8.4%	—	18.0%
車両	22年度 (基準年度)	194,949.9	944.7	5,237.8	2,535.0	203,667.4
	29年度	174,880.5	566.3	4,909.3	3,334.5	183,690.6
	増 減	△20,069.4	△378.4	△328.5	799.5	△19,976.8
	増 減 率	△10.3%	△40.1%	△6.3%	31.5%	△9.8%
合 計	22年度 (基準年度)	8,490,586.2	2,651.4	6,423.8	2,535.0	8,502,196.4
	29年度	9,965,723.9	2,282.6	5,995.9	3,334.5	9,977,336.9
	増 減	1,475,137.7	△368.8	△427.9	799.5	1,475,140.5
	増 減 率	17.4%	△13.9%	△6.7%	31.5%	17.4%

イ グリーン購入

「青梅市における環境に配慮した物品調達の推進方針(グリーン購入)」を定め、国が定める「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」に準じて、報償物品購入費、消耗品費、印刷製本費および備品購入費を対象として実施した。

グリーン購入の実績 (単位：千円)

科 目	決 算 額	グリーン購入額	購 入 割 合	
報 償 費	報償物品購入費	14,143	462	3.3%
需 用 費	消 耗 品 費	422,901	55,216	13.1%
	印 刷 製 本 費	72,409	17,783	24.6%
備 品 購 入 費	備 品 購 入 費	68,726	8,206	11.9%
合 計		578,179	81,667	14.1%

※ 一般会計、特別会計、モーターボート競走事業会計および病院事業会計を集計したもの

(8) 墓地等の経営の許可等の状況

申請日	申請の区分	決定日	決定の内容
29.3.17 (※)	墓地	29.4.6	不許可

(※) 前年度に申請があり、決定が本年度となった。

(9) 放射線量測定

放射性物質による市内の環境の状況把握のため、空間放射線量の定期定点測定を市内4地点で1か月に1回行った。測定の結果、青梅市放射性物質対応指針に定めた除染基準である毎時0.23マイクロシーベルトを超えた地点はなかった。

定期定点測定（4月14日～3月14日）

（単位： $\mu\text{Sv/h}$ ）

測定日	測定地点			
	第二小学校	第五小学校	成木小学校	新町小学校
4.14	0.03	0.04	0.05	0.05
5.17	0.03	0.03	0.05	0.05
6.14	0.03	0.04	0.05	0.05
7.19	0.04	0.03	0.06	0.05
8.21	0.04	0.04	0.05	0.04
9.15	0.03	0.04	0.05	0.05
10.17	0.04	0.04	0.06	0.05
11.16	0.04	0.03	0.05	0.05
12.13	0.03	0.03	0.06	0.04
1.10	0.04	0.04	0.06	0.05
2.15	0.04	0.03	0.06	0.05
3.14	0.03	0.04	0.05	0.05

(10) 小型放射線測定器貸出

放射線測定を希望する市民への小型放射線測定器の貸出しはなかった。

3 動物愛護事業経費

飼い主のいない猫を保護し譲渡等を行う団体に対し、事業に要する費用の一部を補助した。

名 称	交 付 先	金 額
青梅市飼い主のいない猫 対策事業補助金	おうめ猫の会 青梅にゃんにゃんサークル「W I S H」 いのちを考える会・青梅	600千円

4 公害対策経費

(1) 都民の健康と安全を確保する環境に関する条例に関する事務処理状況

ア 工場

(ア) 認可

（単位：件）

設置認可	変更認可	不認可	取 下 げ	認 定	次年度繰越
5	6	0	0	14	0

（歳出 4 衛 生 費）

(イ) 届出

(単位：件)

氏名等変更届	承継届	廃止届	職権削除	化学物質 使用量等報告書
12	1	4	0	16
化学物質 管理方法書	土壌汚染状況 調査報告書	汚染拡散防止 計画書	汚染拡散防止 措置完了届	
5	1	0	1	

(ウ) 監察

(単位：件)

事故届	改善勧告	改善命令
0	0	0

イ 指定作業場

(ア) 届出

(単位：件)

設置届	変更届	氏名等変更届	承継届	廃止届
5	1	4	0	2
化学物質 使用量等報告書	化学物質 管理方法書	土壌汚染状況 調査報告書	汚染拡散防止 計画書	汚染拡散防止 措置完了届
9	0	1	0	0

(イ) 監察

(単位：件)

事故届	改善勧告	改善命令
0	0	0

(2) 騒音規制法に関する事務処理状況

ア 特定施設設置の届出

(単位：件)

施設の種類	金属加工機械	空気圧縮機等	印刷機械	木材加工機械	合計
件数	0	3	0	0	3

イ 特定施設に係る変更等の届出

(単位：件)

届出の種類	防止の方法変更	氏名等変更	種類ごとの数変更	承継	廃止
件数	0	5	1	0	0

ウ 特定建設作業の届出

(単位：件)

届出の種類	くい打設	破砕	掘削	空気圧縮機	合計
件数	0	14	0	0	14

(3) 振動規制法に関する事務処理状況

ア 特定施設設置の届出

(単位：件)

施設の種類	金属加工機械	圧縮機	破砕機等	印刷機械	合計
件数	0	2	0	0	2

イ 特定施設に係る変更等の届出

(単位：件)

届出の種類	防止の方法変更	氏名等変更	種類および能力ごとの数変更	承 継	廃 止
件 数	0	5	2	0	0

ウ 特定建設作業の届出

(単位：件)

作 業 の 種 類	く い 打 設	破 碎	合 計
件 数	1	12	13

(4) 苦情の受付および対応状況

(単位：件)

現 象	大気汚染	水質汚濁	騒 音	振 動	悪 臭	その他	合 計
受付件数	101	3	41	2	103	3	253
対応件数	101	3	41	2	103	3	253

(5) 事業所調査

ア ばい煙調査

大気汚染の原因とされるいおう酸化物、窒素酸化物、ばいじん等について、ボイラー（伝熱面積5㎡以上）を使用している事業所の中から4事業所（4施設）を抽出して調査した結果、すべての事業所において、規制基準に適合していた。

イ 使用燃料いおう分調査

重油を使用している事業所のうち7事業所（7検体）について、使用燃料を調査した結果、すべての事業所が基準に適合した燃料を使用していた。

(単位：重量比%)

検 体 数	平 均 い お う 分
7	0.08

ウ 工場等排水調査

水質汚濁発生源に対する規制指導として、19事業所に立ち入り、排水の水質調査をした結果、すべて環境基準値以下であった。

(単位：件)

調査項目	区 分	検体数	基準不適合 検 体 数	不適合に対する措置状況		
				改善要請	改善勧告	改善命令
生 活 環 境 項 目	201人槽以上	8	0	0	0	0
	200人槽以下	9	0	0	0	0
	畜 舎	4	0	0	0	0
	小 計	21	0	0	0	0
健 康 項 目		1	0	0	0	0
合 計		22	0	0	0	0

(歳出 4 衛 生 費)

(6) 環境調査

ア 河川水質調査

河川の汚濁状況を把握するため、本支流21河川について水質調査を行い、本支流14河川については底質調査も行った。

(単位：pHなし、その他はmg/L)

河川名	多 摩 川		成 木 川	
地点名	御 岳 橋	多 摩 川 橋	北小曾木川合流後	両 郡 橋
類 型	A A	A	A	A
pH	7.3	7.4	7.6	8.0
BOD	0.6	0.6	0.5	0.7
SS	1.0	3.0	1.0	1.4
DO	10.9	10.7	9.5	10.6

河川名	黒 沢 川		霞 川	
地点名	峯 向 橋	落 合 橋	城 前 橋	金 子 橋
類 型	A	A	A	A
pH	7.7	8.2	7.7	8.0
BOD	1.0	0.7	0.5	0.9
SS	1.0	1.5	1.0	2.2
DO	10.7	10.7	10.1	10.1

※ 両郡橋、落合橋、金子橋については、東京都の調査結果（速報値）。

※ 生活環境の保全に関する環境基準 pH 6.5以上8.5以下

SS 25mg/L以下 BOD A A…1 A…2 B…3 mg/L以下

DO A A・A…7.5 B…5 mg/L以上

イ 地下水調査

3か所の井戸から年1回（10月）地下水を採水し、分析した結果、カドミウム等重金属類の有害物質は検出されなかった。

ウ 道路交通騒音・振動調査

道路交通騒音・振動の実態を把握するため、騒音規制法・振動規制法の規定にもとづき調査を行った。

(単位：dB)

調 査 地 点	調 査 期 間	騒 音						振 動			
		調 査 結 果		環 境 基 準		要 請 限 度		調 査 結 果		要 請 限 度	
		昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間
秋 川 街 道 長 淵 8 丁 目	12.11 ~12.14	64	57	70	65	75	70	29	20	70	65
成 木 街 道 根ヶ布 2 丁 目	9.25 ~9.28	67	61	70	65	75	70	42	22	65	60
新 町 8 丁 目	10.2 ~10.5	66	62	70	65	75	70	41	35	65	60
吉 野 街 道 畑 中 3 丁 目	10.10 ~10.13	70	65	70	65	75	70	34	24	65	60
吉 野 街 道 柚 木 町 2 丁 目	12.18 ~12.21	66	61	70	65	75	70	31	22	65	60

調査地点	調査期間	騒音						振動			
		調査結果		環境基準		要請限度		調査結果		要請限度	
		昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間
青梅街道 日向和田3丁目	9.19 ～9.22	64	58	70	65	75	70	30	21	65	60
青梅街道 新町1丁目	9.11 ～9.14	69	64	70	65	75	70	28	21	65	60
新町5丁目	10.30 ～11.2	61	59	70	65	75	70	33	31	70	65
友田町4丁目	11.7 ～11.10	56	54	70	65	75	70	15	15	65	60

※ 時間区分… (騒音) 昼間：午前6時～午後10時 夜間：午後10時～翌日午前6時
(振動) 昼間：午前8時～午後7時 夜間：午後7時～翌日午前8時
用途地域が近隣商業地域・商業地域・準工業地域・工業地域の場合は、
昼間：午前8時～午後8時 夜間：午後8時～翌日午前8時

※ 環境基準… 生活環境を保全し、人の健康の保護に資するうえで、維持されることが望ましい基準（環境基本法第16条）

なお、実施した騒音調査については、すべての調査地点が幹線交通を担う道路に近接する空間に該当するため、特例の基準値を適用する。

※ 要請限度… 指定地域内において、道路交通法上の規定による措置を要請することができる基準（騒音規制法第17条）

指定地域内において、道路交通振動防止のための舗装、維持または修繕の措置を執るべきことを要請し、または道路交通法の規定による措置を要請することができる基準（振動規制法第16条）

なお、実施した騒音調査については、すべての調査地点が幹線交通を担う道路に近接する区域に該当するため、特例の基準値を適用する。

エ 自動車騒音常時監視

騒音規制法の規定にもとづき、市内10路線10区間で調査を実施し、沿道地域における環境基準の達成状況を評価した。

路線名	評価区間			達成率(%)	
	始点	終点	延長(km)	昼間	夜間
一般国道411号	あきる野市境	友田交差点	1.7	94.4	87.9
新宿青梅線	千ヶ瀬五丁目交差点	青梅市民会館南交差点	1.0	100	100
青梅飯能線	黒沢二丁目交差点	飯能市境	4.9	99.1	100
瑞穂富岡線	青梅インター入口交差点	七日市場交差点	1.4	98.8	95.8
奥多摩青梅線	軍畑駅入口交差点	軍畑大橋南交差点	0.3	100	100
青梅秩父線	成木五丁目交差点	飯能市境	6.0	100	100
藤橋小作線	藤橋久保交差点	新町6-1-1付近の交差点	1.4	100	100
成木河辺線	大門交差点	河辺交差点(河辺町5-25-1付近)	1.8	100	100
梅郷日向和田線	梅郷四丁目交差点	日向和田駅交差点	0.6	96.3	96.3
大久野青梅線	日の出町境	梅ヶ谷峠入口交差点	1.6	100	100

※ 時間区分… 昼間：午前6時～午後10時 夜間：午後10時～翌日午前6時

※ 達成率については、過去5年間に測定を実施した同一路線の別の評価区間の数値を含めたものである。

オ 交差点等大気汚染調査

大気汚染の原因の一つとされる二酸化窒素について、主要交差点等12か所において年2回調査を行った。

(単位：ppm)

調査交差点名 または調査地点	二酸化窒素	
	夏期 (6.19~20)	冬期 (12.4~5)
青梅新町	0.024	0.025
友田	0.022	0.021
長淵七丁目	0.016	0.013
青梅市民会館南	0.015	0.012
御岳橋	0.008	0.007
成木五丁目	0.010	0.009
青梅四小前	0.018	0.018
梅郷四丁目	0.011	0.009
今寺	0.028	0.017
友田町4丁目	0.016	0.009
七日市場	0.021	0.018
新岩蔵大橋	0.016	0.014
平均	0.017	0.014

※ 環境基準… 1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内、または、それ以下。

カ 酸性雨調査

森林や湖沼、文化財等への影響から問題になっている雨水の酸性度について把握するため、市役所屋上にて毎月調査を行った。

採取月 分析項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
水素イオン濃度 (pH)	5.7	5.4	5.6	5.7	5.5	5.4	5.6	5.8	5.6	5.4	5.5	5.6	5.6

※ 一般にpHが5.6以下の雨を酸性雨という。

キ 大気中ダイオキシン類調査

市内4か所において、ダイオキシン類の調査を行った。

(単位：pg-TEQ/m³)

調査地点	調査期間 夏期 (8.16~23)	冬期 (2.8~15)
青梅市役所屋上	0.0082	0.010
新町小学校屋上	0.012	0.025
長淵市民センター駐車場	0.0088	—
上長淵自治会館	0.014	—

※ ダイオキシン類にはコプラナーPCBを含む。

※ 単位：pg(ピコグラム)は、1兆分の1g。

※ 環境基準… 0.6 pg-TEQ/m³以下。

※ 長淵市民センター駐車場および上長淵自治会館については、夏期のみの調査。

ク 大気中アスベスト調査

市内3か所において、年1回（2月）アスベストの調査（総繊維数濃度調査）を行った。

（単位：本/L）

調査地点 \ 調査日	2.14
青梅市役所	0.056未満
新町市民センター	0.056未満
梅郷市民センター	0.056

※ 大気汚染防止法において定められた基準値10本/L。

※ WHO（世界保健機関）の評価基準によると、「世界の都市部の一般環境中の石綿繊維数濃度は1本～10本/L程度であり、この程度であれば、健康リスクは検出できないほど低い」とされている。

ケ 微小粒子状物質調査

市内1か所において、微小粒子状物質の調査を行った。

（単位： $\mu\text{g}/\text{m}^3$ ）

調査地点 \ 調査期間	9.14～15
新町市民センター	8.0

※ 単位： μg （マイクログラム）は、100万分の1g。

※ 環境基準… 1日平均値が $35\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下。

コ 藻類・底生生物調査および定性分析

アユの餌となる付着藻類の現状把握のため、年3回、市内の多摩川の3か所において市民団体の協力を得て調査を実施した。市民球技場については、併せて年1回、底生生物の調査および川石の付着物の定性分析を実施した。

底生生物を調査した結果、100種類の底生生物が確認され、定性分析の結果、主な成分として、二酸化ケイ素（石英）が確認された。

また、経年変化の確認のため、過去の分析資料から底生生物、付着藻類について出現種を分類学的に集計し生物学的水質判定を行ったところ、年間変動に規則性は見られず、きれいな水域であるとの結果であった。

(ア) 藻類出現種

調査地点 \ 調査日	4.25	9.5	2.6
市民球技場	19種類	36種類	30種類
和田橋	25種類	36種類	29種類
楓橋	28種類	28種類	31種類

（歳出 4 衛生費）

(イ) 灰分率

(単位：%)

調査地点	調査日	4.25	9.5	2.6
市民球技場		46.7	46.7	46.8
和田橋		49.1	35.7	41.4
楓橋		49.2	53.9	47.2

※ 灰分率とは、採取試料に占める無機物の割合。

(7) 採石公害対策

採石事業に伴って発生する公害を未然に防止するため、ダンプトラック交通量および粉じん調査を行うとともに、青梅市採石等公害防止対策連絡協議会を開催し、各事業所の公害防止のため連絡調整をした。また、粉じん防止のため、機械の保守点検・洗車施設の有効使用について各事業所への巡回指導を行った。

ア 主要交差点のダンプトラック交通量調査

(単位：台)

調査交差点名	調査日		調査交差点名	調査日	
	12.19	3.5		12.19	3.5
成木五丁目	1,058	1,101	長渕七丁目	766	915
成木八丁目	1,688	2,058	佐藤塚	189	302
黒沢二丁目	1,543	1,887	軍畑駅入口	363	420
青梅四小前	1,547	1,510			
新岩蔵大橋	502	778	合計	8,293	9,713
梅ヶ谷峠入口	637	742	平均台数	921	1,079
梅ヶ谷峠入口交差点タンクローリー車台数				9	39

イ 採石場周辺の大気中粉じん調査

(単位：mg/m³)

調査地点	調査期間	測定値	調査地点	調査期間	測定値
成木8-368付近	11.30~12.1	0.004	成木5-1102付近	11.20~11.21	0.003
成木8-420付近	11.30~12.1	0.003	成木7-649付近	11.27~11.28	0.002
成木8-853-2付近	11.27~11.28	0.007	駒木町2-435付近	12.4~12.5	0.004
成木5-1400付近	11.20~11.21	0.005	平均		0.004

※ 環境基準… 1時間値の1日平均値が0.1mg/m³以下であり、かつ1時間値が0.2mg/m³以下。

(8) 青梅市採石等公害防止対策連絡協議会

ア 青梅市採石等公害防止対策連絡協議会委員

氏名	選出区分	備考	氏名	選出区分	備考
米澤鉄平	関係行政機関職員	3.31退任	西村達男	関係地区住民代表	5.12退任
石坂弘司		3.31退任	○青木初雄		5.13就任
浅野雄二			◎宮口泉		
高橋正		小澤佑一	3.31退任		
山崎茂	関係地区住民代表	4.1就任	遠藤光男	採石事業者代表	
川口邦洋		9.21退任	澤本哲俊		
井上敏明		9.22就任	大村昌一		

任期：平成28年9月11日～平成30年9月10日まで ◎は会長、○は職務代理者

イ 協議会開催状況

開催日	内 容
7.11	職務代理者の選出について 平成28年度第3回青梅市採石等公害防止対策連絡協議会における巡視の結果について 採石場等製品搬出・表土搬出・残土搬入台数調書について 採石事業場の変更認可について
10.18	採石場等製品搬出・表土搬出・残土搬入台数調書について 採石事業場の災害防止計画の変更について 採石事業場の認可更新について 採石場等見学会および意見交換会について
2.22	採石場等の巡視（1か所） ダンプトラックシート掛け調査の実施結果について 砕石運搬車両の夜間および早朝パトロールの実施結果について 採石場共同パトロールの実施結果について 採石場等製品搬出・残土搬入台数調書について

(9) 光化学スモッグ（オキシダント）

平成29年度は、本市を含む多摩西部地域において、光化学スモッグ注意報の発令日数は以下のとおりであった。なお、警報および重大緊急報の発令はなかった。

（単位：日）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
注意報発令日数	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1

5 墓地公園管理経費

(1) 墓地公園使用状況

（単位：区画）

種 別	区 画 数			使 用 状 況					
	28 年 度 末	29 年 度 造 成 分	合 計	28 年 度 末	29 年 度 使 用 許 可 数	29 年 度 返 還 数	総 使 用 数	残 数	
規格墓所	4.5㎡	742	0	742	732	0	4	728	14
	3.75㎡	360	0	360	358	0	1	357	3
自由墓所	408		0	408	402	0	0	402	6

（歳出 4 衛 生 費）

(2) 墓地公園管理清掃業務委託

種 別	内 容 ・ 面 積	委託金額	委 託 先	期 間
墓 苑	芝 刈 約4,494㎡×6回	7,547千円	(公社)青梅市シルバー人材センター	4.1~3.31
	草 刈 約5,000㎡×6回			
	芝 張 約 200㎡×1回			
	芝 清 掃 約4,494㎡×1回			
墓 地	手抜除草 約1,838㎡×6回			
	草 刈 約3,568㎡×6回			
墓 地 公 園 内 全 体	低木刈込 約1,538㎡×2回			
	中木刈込 約 89㎡×2回			
	梅せん定 年1回			
	はき掃除 約7,250㎡×12回			
そ の 他	ごみ処理 週1回			
	便所清掃 月2回(2棟)			
	供具、供花、供物および紙くず等の除去			
	芝切り(規格墓所使用者が納骨する際、事前に納骨できる状態にする)			
	緩衝山林の草刈り			
	除雪			
	軽微な修繕等			

(3) 墓地公園樹木伐採および折れ枝剪定業務委託

内 容	契約金額	受 注 者	契約工期
樹木の伐採および折れ枝剪定	201千円	(株)森林文化研究所	2.6~3.9

6 墓地公園整備経費

墓地公園樹林墓地等設計委託

内 容	契約金額	受 注 者	契約工期
墓地公園樹林墓地等設計	3,000千円	(株)セット設計事務所	8.8~3.29

○ 葬 祭 費 (1 2 3 , 8 0 2 , 1 4 7 円)

[市民課]

1 斎場火葬場管理経費

(1) 火葬場

ア 火葬場運営状況

青梅市火葬場については、指定管理者制度を導入しており、平成26年4月から平成31年3月までの5年間の協定により、富士建物管理・富士建設工業共同体が運営を行っている。

イ 火葬場使用状況

(単位：件、%)

区分	青梅市	奥多摩町	あきる野市	日の出町	その他	合計
件数	1,518	4	6	0	134	1,662
構成比	91.3	0.2	0.4	0	8.1	100.0
摘要	開場日数 302日 休場日数 63日 (友引日60日、1月1日～3日) 1日平均 5.5件					

ウ 動物炉使用状況

(単位：件)

区分	犬	猫	その他	合計
件数	196	371	572	1,139

エ 主な修繕

修繕名称	修繕内容	金額	実施者	契約期間
火葬炉等修繕	火葬炉耐火材修繕(1～4号炉、動物炉)、耐火台車上下部交換ほか	12,960千円	富士建設工業(株)	6.30 ～10.31

(2) 斎場

ア 斎場運営状況

青梅市民斎場については、指定管理者制度を導入しており、平成26年4月から平成31年3月までの5年間の協定により、富士建物管理・富士建設工業共同体が運営を行っている。

イ 式場使用状況

(単位：回、%)

区分	通夜	告別式	合計	構成比	
式場	490	552	1,042	100.0	
第1式場	243	258	501	48.1	
第2式場	245	290	535	51.3	
第3式場	2	4	6	0.6	
祭壇	486	547	1,033	100.0	
仏式	398	437	835	80.8	
神式	47	52	99	9.6	
キリスト教式	0	0	0	0	
その他	41	58	99	9.6	
摘要	開場日数 362日 休場日数 3日 (1月1日～3日) 使用許可人数 550人				

ウ 会席室等使用状況

(単位：時間)

区分	会席室(1)	会席室(2)	会席室(3)	会席室(5)	霊安室	湯かん室
使用延べ時間	1,540	847	1,076	289	20,412	105

(歳出 4 衛生費)

○ 病院事業費 (716,380,800円)

[財政課]

病院事業経費

(単位：千円)

区 分	金 額	備 考
病院事業会計負担金	672,551	基準額672,551
病院事業会計出資金	41,000	
病院事業会計繰出金	2,830	
合 計	716,381	

清 掃 費

2,874,697,421円

○ 廃棄物対策費 (2,874,697,421円)

[清掃リサイクル課]

1 廃棄物減量等推進審議会経費

(1) 廃棄物減量等推進審議会委員

氏 名	選 出 区 分	備 考
高 木 博 康	青梅市自治会連合会代表	
森 田 幸 平	青梅市環境美化委員連合会代表	11.30退任
◎ 泊 正 人	〃	12.1就任
鎌 田 博 志	教育関係者代表	
永 井 勝	市民公募委員	11.30退任
鈴 木 健 次	〃	11.30退任
新 海 博 志	〃	12.1就任
○ 野 寄 弘	事業者代表	
坂 下 敏 雄	〃	11.30退任
小 山 孝	〃	12.1就任
高 橋 宏 美	消費者団体代表	11.30退任
北 沢 典 子	〃	12.1就任
鈴 木 隆	資源回収事業者代表	
小 村 建 一	市清掃受託会社代表	

任期：平成29年12月1日～平成31年11月30日 ◎は会長、○は副会長

(2) 審議会開催状況

開 催 日	内 容
1.19	報告事項 (1) 平成28年度ごみ収集状況等について (2) 平成28年度集団回収の状況について (3) 青梅市し尿処理場の改修について 協議事項 (1) 資源ごみの収集方法の見直しについて (2) 集団回収に関わる報償金および助成金の変更について

2 美化環境推進経費

(1) 美化デーの実施

毎月第2日曜日を美化デーと定め、市内一斉に清掃を実施するよう努めた。

(2) 市内の環境美化と不法投棄防止対策

美化活動の一環として、不法投棄の比較的多い場所にごみ捨て禁止の立看板を設置した。

(3) ごみ収集等委託

(単位：千円)

委託名称	場 所	受注者	金額	期 間
環境美化推進重点地区清掃業務委託	東青梅駅(南口、北口)、青梅駅、河辺駅(南口、北口)、小作駅	(公社)青梅市シルバー人材センター	1,177	4.1 ～3.31
美化デーごみ等収集運搬業務委託	市内全域	(株)大島商事	2,748	
多摩川河川敷清掃業務および多摩川河川ごみ収集運搬業務委託	河川敷清掃業務 日向和田市営住宅先から梅郷1丁目グラウンド下河原(9か所) 河川ごみ収集運搬業務 御岳苑地トイレ横から市民球技場管理棟横(6か所)	青梅新興(株)	1,474	5.8 ～10.10
休日動物死体等収集運搬業務委託	市内全域	(株)大島商事	1,735	4.1 ～3.31
多摩川一万人清掃大会のごみ等収集運搬業務委託	多摩川流域		205	8.6
合 計			7,339	

(4) 不法投棄廃棄物収集実績

(単位：品)

区 分	収 集 数		収 集 量	情 報 提 供 件 数	
直 営 収 集 分	家 電	28	16,250kg	市 民	265
	家 具	89		警 察	6
	そ の 他	2,580		職 員	154
	計	2,697		そ の 他	17
				計	442

(5) 不法投棄廃棄物処理実績

(単位：千円)

区 分	受注者	金額	品 目	処 理 量
家電リサイクル法	青梅新興(株)	67	テレビ	20台
			冷蔵庫	4台
			洗濯機・衣類乾燥機	4台
その他処分	NKリサイクル(株)	11	タイヤ	54本
	(有)島村商店	156	廃混合物	12m ³
収集・運搬	青梅新興(株)	324		3回
合 計		558		

※ 4 家電については、(-財)家電製品協会の不法投棄未然防止事業を実施。

(歳出 4 衛 生 費)

(6) 青梅市環境美化委員連合会補助金

団 体	補 助 金	目 的	備 考
青梅市環境美化委員連合会	4,100千円	青梅市のごみ減量および環境美化向上のため	環境美化委員 711人

(7) 環境美化各地区委員会

市内各地区において、環境美化委員会を開催し、ごみ減量の推進、美化活動の推進等環境美化全般にわたる説明および打合せを行った。

(8) 環境美化大会の開催

- ア 期 日 5月28日（日）
- イ 会 場 青梅市役所2階会議室
- ウ 参加者 環境美化指導員等 98人
- エ 内 容 環境美化指導員永年功労者、環境衛生・美化優良団体、環境衛生・美化善行者等の表彰を行った。また、講師を招き「燃やすごみの焼却について～西多摩衛生組合の現状と課題～」と題した講演会を開催した。

3 ごみ減量対策経費

(1) 市民への周知

ア 青梅市ごみ収集カレンダーの配布

5か国語（英語、スペイン語、中国語、韓国語、タイ語）の表記がある青梅市ごみ収集カレンダーの全戸配布を青梅市環境美化委員連合会が中心となり3月に行った。

また、ボランティア団体の協力により作成した点字版および音声版（デイジー方式）の青梅市ごみ収集カレンダーを、希望者に配付した。

なお、音声版には「青梅市ごみ減量・資源リサイクルハンドブック」も併せて収録した。

イ ごみ情報紙の発行

ごみ減量・資源リサイクルの自主的な取組と意識啓発を促進するため、ごみ情報紙「ごみ減量・リサイクル通信」を3月15日に発行した。

ウ 出前講座等

ごみの減量と資源のリサイクル促進に向けた適正な分別排出などについて、各種団体等の要請にもとづく講座の開催、小学校等の施設見学や中学校の体験学習の受入れによる啓発活動を行った。

(ア) ごみ減量講演会

実 施 日	内 容	会 場	参加者数
2.25	びんを学ぼう！ ～ガラスびんの魅力と3R～	青梅市役所2階会議室	83人

(イ) ごみ処理施設見学会

(単位：人)

実施日	見学場所	対象	参加者数
8.17	・多摩川上流水再生センター ・西多摩衛生組合 ・青梅市リサイクルセンター	小・中学生と保護者	17
11.22	・青梅市リサイクルセンター ・日の出山荘 ・つるつる温泉 ・東京たま広域資源循環組合 二ツ塚処分場・谷戸沢処分場 エコセメント化施設	一般	30

(ウ) その他

(単位：人)

区分	件数	参加者数
ごみ減量講座	4	267
リサイクルセンター施設見学	1	3
小中学校施設見学	10	753
中学校体験学習	5	26

(2) 小学生ごみ減量化・資源リサイクル推進作品コンクール

市内の小学4年生から6年生を対象に、ごみ減量と資源のリサイクルを推進し、ごみ問題の重要性を訴え、理解していただけるよう啓発することを目的に実施した。

なお、入賞作品は市役所1階ロビーでの掲示、広報紙およびホームページでの公表を行った。また、ごみ収集カレンダーに金賞作品を掲載した。

ア 表彰式 10月28日 市役所2階会議室

イ 応募状況

(単位：人)

区分	ポスター部門				キャッチフレーズ部門			
	4年生	5年生	6年生	合計	4年生	5年生	6年生	合計
応募	18	9	9	36	72	7	1	80
入賞	金賞	1	1	1	3	最優秀賞 1		1
	銀賞	1	1	1	3	優秀賞 2		2
	銅賞	1	1	1	3			

(3) ごみ減量啓発運動の開催

実施日	会場	内容
10.4、3.7	河辺駅	マイバッグ持参を中心とした、ごみ減量推進の啓発および食品ロスを減らす取り組みの実践を、広く市民に呼びかけを行った。
10.5、3.12	東青梅駅	
10.6、3.13	青梅駅	
11.5、11.6	青梅産業観光まつり	

(4) 青梅市リサイクル推進協力店の登録状況 (3月31日現在) 23店舗

(歳出 4 衛生費)

(5) 資源回収事業

ごみ減量、資源の有効活用を積極的に推進すべく、資源有価物の分別と資源回収を各種団体の協力を得て実施した。

ア 資源再利用実施団体奨励報償金対象品目回収量 (単位：kg、円/kg)

品 目	新 聞	雑 誌・雑 紙	紙 パ ッ ク	ダンボール	織 維 類
回 収 量	1,538,749.0	954,983.0	18,313.0	681,158.0	167,429.0
基 準 額	9	10	10	9	9
く ず 鉄 類	ア ル ミ	1.8Lびん	ビールびん(大びん)	その他のびん	合 計
61,155.0	70,244.0	34,291.5	13,863.5	270,931.5	3,811,117.5
8	20	16	16	15	

イ 資源再利用実施団体奨励報償金および特別報償金地区別交付状況

(単位：千円)

地 区	奨 励 報 償 金			特 別 報 償 金		
	団 体 数	回 数	金 額	団 体 数	回 数	金 額
青 梅	15	186	5,126	15	191	605
長 淵	13	226	6,127	12	223	764
大 門	21	245	4,836	17	234	562
梅 郷	11	89	2,685	6	72	232
沢 井	13	62	1,300	3	36	77
小 曾 木	1	68	1,250	2	85	137
成 木	1	8	302	0	0	0
東 青 梅	22	228	5,184	18	214	626
新 町	19	214	4,227	16	200	504
河 辺	20	227	4,339	17	206	458
藤 橋・今 井	6	70	2,572	6	72	342
合 計	142	1,623	37,948	112	1,533	4,307

ウ 資源回収事業協力助成金対象品目回収量

(単位：kg、円/kg)

品 目	新 聞	雑 誌・雑 紙	紙 パ ッ ク	ダンボール	織 維 類
回 収 量		951,583.0	18,292.0		165,654.0
単 価		1	1		5
く ず 鉄 類	ア ル ミ	1.8Lびん	ビールびん(大びん)	その他のびん	合 計
61,155.0		32,963.5	12,296.0	270,931.5	1,512,875.0
5		4	4	16	

エ 資源回収事業協力助成金交付状況

業 者 数	回 数	金 額
15	1,671	6,620千円

4 ごみ収集経費

(1) 収集制度

区 分		収 集 方 法 等
燃 や す ご み		週2回収集（月・木曜日、火・金曜日） 指定収集袋による戸別有料収集（一部ステーション収集）
燃 や さ な い ご み		月1回第1週収集（月～金曜日） 指定収集袋による戸別有料収集（一部ステーション収集）
容 器 包 装 プ ラ ス チ ッ ク ご み		第1週を除く各週収集（月～金曜日） 指定収集袋による戸別有料収集（一部ステーション収集）
有害ごみ	蛍 光 管	週1回燃やさないごみおよび容器包装プラスチックごみ収集日に併せて戸別無料収集（一部ステーション収集） およびリサイクルセンターへ持込み
	乾 電 池	
	ライタースプレー缶等	
粗 大 ご み		申込制による随時戸別有料収集または個人有料持込み
資源ごみ	新 聞 紙	月1回第1水曜日戸別無料収集（一部ステーション収集）
	雑 誌 ・ 雑 紙	月1回第2水曜日戸別無料収集（一部ステーション収集）
	段ボール・紙パック	月1回第3水曜日戸別無料収集（一部ステーション収集）
	繊維類（かばん、靴、ベルト、ぬいぐるみ）	月1回第4水曜日戸別無料収集（一部ステーション収集）
	ビ ン ・ カ ン	隔週の戸別無料収集（一部ステーション収集）
	ペ ッ ト ボ ト ル	隔週の戸別無料収集（一部ステーション収集） 週3回、スーパー等の店頭および公共施設での拠点無料収集
	白 色 ト レ イ	週3回、スーパー等の店頭および公共施設での拠点無料収集
	廃 食 用 油	リサイクルセンターへ持込み
	小 型 家 電	公共施設での拠点無料収集、リサイクルセンターへ持込み
	ガ ラ ス ・ 陶 磁 器	リサイクルセンターへ持込み

※ 戸別無料収集のビンとペットボトルは、同日収集

(2) 燃やすごみ、資源ごみ収集

ア 燃やすごみ、資源ごみ（新聞紙、雑誌・雑紙、段ボール・紙パック、繊維類）委託状況
（単位：千円）

受注者	金額	期 間	稼働台数	備 考
青梅新興(株)	391,470	4.1～3.31	週5日20台	燃やすごみ収集 週4日間 新聞、雑誌・雑紙、段ボール・紙パック、繊維類の資源ごみ収集 各1日間
スイハン企業(株)	86,443		週5日6台	
(株)大島商事	30,223		週5日2台	
合 計	508,136			

イ 燃やすごみ収集状況

（単位：kg）

区 分	受注者	稼働日数	輸送回数	収 集 量
戸 別 分	青梅新興(株)	206	12,406	14,897,260
	スイハン企業(株)		3,145	4,952,320
	(株)大島商事		1,087	1,641,020
	計		16,638	21,490,600
御岳山	青梅新興(株)	52	※	23,750
合 計			16,638	21,514,350

※ 御岳山の輸送回数は、戸別分の青梅新興(株)に含まれる。

（歳出 4 衛 生 費）

ウ 資源ごみ（新聞紙、雑誌・雑紙、段ボール・紙パック、繊維類）収集状況

（単位：kg）

区 分	受 注 者	稼働日数	輸送回数	収 集 量
新聞紙 第1水曜日 収 集	青梅新興(株)	12	587	575,720
	スイハン企業(株)		174	182,130
	(株)大島商事		61	80,770
	青梅新興(株)(御岳山)		12	2,240
	計		834	840,860
雑誌・雑紙 第2水曜日 収 集	青梅新興(株)	12	731	919,970
	スイハン企業(株)		236	297,430
	(株)大島商事		73	118,690
	青梅新興(株)(御岳山)		12	4,240
	計		1,052	1,340,330
段ボール ・紙パック 第3水曜日 収 集	青梅新興(株)	12	705	413,810
	スイハン企業(株)		232	136,800
	(株)大島商事		71	50,020
	青梅新興(株)(御岳山)		12	7,930
	計		1,020	608,560
繊維類 第4水曜日 収 集	青梅新興(株)	12	602	434,260
	スイハン企業(株)		180	145,500
	(株)大島商事		65	59,390
	青梅新興(株)(御岳山)		11	1,020
	計		858	640,170

(3) 燃やさないごみ、容器包装プラスチックごみ、粗大ごみ収集

ア 委託状況

（単位：千円）

区 分	受 注 者	金 額	期 間	稼働台数	備 考
燃やさないごみ ・ 容器包装プラス チックごみ	青梅新興(株)	97,900	4.1~3.31	週5日5台	燃やさないごみ 月1回収集 容器包装 プラスチックごみ 第1週を除く 週1回収集
	スイハン企業(株)	99,792		週5日6台	
	合 計	197,692			

イ 燃やさないごみおよび容器包装プラスチックごみ収集状況

（単位：kg）

区 分	受 注 者	燃やさないごみ			容 器 包 装 プ ラ ス チ ッ ク ご み			合 計		
		稼働日数	輸送回数	収集量	稼働日数	輸送回数	収集量	稼働日数	輸送回数	収集量
戸別分	青梅新興(株)	60	817	541,280	196	2,178	663,010	256	2,995	1,204,290
	スイハン企業(株)		752	709,740		1,734	876,940		2,486	1,586,680
	計		1,569	1,251,020		3,912	1,539,950		5,481	2,790,970
御岳山	青梅新興(株)	12	12	2,430	40	39	2,490	52	51	4,920
合 計			1,581	1,253,450		3,951	1,542,440		5,532	2,795,890

※ 有害ごみ(乾電池および蛍光管等)を含む

ウ 粗大ごみ収集状況

(単位：kg)

区 分	稼働日数	取扱件数	品 数	取 扱 量
収 集	244	8,012	31,763	360,180
個人持込	295	61,660	182,576	1,399,270
御 岳 山	30		105	680
合 計			214,444	1,760,130

※ せん定枝を含む

(4) 資源ごみ（ビン・カン・ペットボトル）収集

ア 資源ごみ（ビン・カン・ペットボトル）委託状況

(単位：千円)

区 分	受 注 者	金 額	期 間	稼働台数	備 考
ビ ン カ ン ・ ペ ット ボ トル	奥 住 運 輸 (有)	65,072	4.1~3.31	週5日6台	隔週収集
	(有)サンククリーン永昌	55,002		週5日5台	
	(有)青梅クリーンリサイクル	45,593		週5日4台	
	共 同 企 業 (株)	10,886		週5日1台	
	合 計	176,553			

イ 資源ごみ（カン）収集状況

(単位：kg)

受 注 者	稼働日数	輸 送 回 数	収 集 量
奥 住 運 輸 (有)	131	819	112,260
(有)サンククリーン永昌		712	91,050
(有)青梅クリーンリサイクル		728	85,340
共 同 企 業 (株)		215	22,460
青梅新興(株)（御岳山分）	26	26	1,180
合 計		2,500	312,290

ウ 資源ごみ（ビン）収集状況

(単位：kg)

受 注 者	稼働日数	輸 送 回 数	収 集 量
奥 住 運 輸 (有)	125	1,196	254,540
(有)サンククリーン永昌		765	215,640
(有)青梅クリーンリサイクル		937	196,370
共 同 企 業 (株)		198	44,900
青梅新興(株)（御岳山分）	25	25	3,660
合 計		3,121	715,110

エ 資源ごみ（ペットボトル）収集状況

(単位：kg)

受 注 者	稼働日数	輸 送 回 数	収 集 量
奥 住 運 輸 (有)	125	1,195	123,310
(有)サンククリーン永昌		792	88,520
(有)青梅クリーンリサイクル		965	77,170
共 同 企 業 (株)		210	19,020
青梅新興(株)（御岳山分）	51	51	950
合 計		3,213	308,970

(歳出 4 衛 生 費)

(5) 資源ごみ（ペットボトル・白色トレイ）拠点収集

受注者	金額	期間	稼働台数	品目	収集量
(有)青梅クリーンリサイクル	16,317千円	4.1~3.31	週3日1台	ペットボトル	99,930kg
				白色トレイ	11,160kg

※ 市内の大型小売店舗等22店舗、市役所、各市民センター、総合体育館等の計39か所で食品用白色トレイとペットボトルの拠点回収を行うとともに、回収ボックスの劣化・破損したものを交換した。

(6) 御岳山収集委託状況

区分	受注者	金額	期間	稼働台数	備考
御岳山収集	青梅新興(株)	3,201千円	4.1~3.31	週1日4台	毎週金曜日収集

※ 収集状況については種類ごとの表に記載

(7) 終末処分状況

(単位：kg)

区分	西多摩衛生組合環境センター			リサイクルセンター等	計
	収集	一般持込	計		
年間	23,385,460	5,512,870	28,898,330	7,847,990	36,746,320
月平均	1,948,788	459,406	2,408,194	653,999	3,062,193

(8) 指定収集袋関係

ア 製作配送等委託

受注者：ジェイフィルム(株)

(単位：円、枚)

区分	契約期間	燃やすごみ		燃やさないごみ		容器包装プラスチックごみ		
		単価	数量	単価	数量	単価	数量	
家庭系	4~3月	大袋	10.83	1,441,360	10.83	145,250	10.83	495,790
		中袋	6.58	2,806,870	6.58	184,400	6.58	1,180,670
		小袋	5.19	1,270,060	5.19	68,180	5.19	306,150
		特小袋	3.74	280,780	12.56	29,810		
事業系	4~3月	一般大袋	11.40	108,000	43.95	3,300	28.20	14,100
		一般小袋	28.26	16,200	86.01	600	75.51	1,200
		福祉大袋	11.40	190,800	57.60	1,800	37.65	5,400
		福祉小袋	6.95	62,100	459.91	600	172.11	3,900
ボランティア袋		9.31	34,500	314.86	1,000			
数量計		6,210,670		434,940		2,007,210		
金額		72,180千円						

イ 取扱事務委託

(単位：円、組)

取扱店名	区 分							期 間	
	種 類	燃 や す ご み		燃 や さ ない ご み		容 器 包 装 プ ラ ス チ ッ ク ご み			
		金 額	交 付 組 数	金 額	交 付 組 数	金 額	交 付 組 数		
勝沼1-32 三昭堂薬店 以下179店舗	家 庭 系	大 袋	600	146,510	480	13,869	300	50,936	4.1 ~3.31
		中 袋	300	276,793	240	15,939	150	115,097	
		小 袋	150	124,817	120	6,668	70	29,119	
		特小袋	70	29,334	60	2,675			
	事 業 系	大 袋	1,610	8,868	1,610	638	1,610	1,467	
		小 袋	805	1,237	805	540	805	281	
	数 量 計		587,559		40,329		196,900		
	金 額		30,367千円						
	委 託 料		取扱金額×11%						

※ 消費税課税届出取扱店については消費税率分を上乗せし執行

※ 1組当たり10枚

5 清掃指導経費

(1) 一般廃棄物管理票制度（マニフェスト）の実施状況 (単位：kg)

区 分	搬 入 先	マニフェスト実施事業所数	搬 入 量
燃 や す ご み	西多摩衛生組合環境センター	545	5,513,150
燃 や さ ない ご み	青梅市リサイクルセンター	21	13,780
せ ん 定 枝		12	185,030

(2) 一般廃棄物処理業および浄化槽清掃業の許可状況

許 可 区 分	一 般 廃 棄 物 収 集 ・ 運 搬 業	一 般 廃 棄 物 処 分 業	浄 化 槽 清 掃 業	合 計
件 数	49	2	1	52

(3) 事業系持込みごみ調査

西多摩衛生組合において、一般廃棄物収集運搬業者が搬入するごみの中身を調査し、不適正物を搬入した業者に対し指導を実施した。

6 資源物処理等経費

(1) 資源物持ち去り防止パトロール

毎月第1水曜日の「古新聞回収日」に資源物の持ち去り防止を目的に、パトロールおよびGPS機器を使い、調査を実施した。(直営2班)

(歳出 4 衛 生 費)

(2) 資源物処理

ア 搬入内訳

(単位：t)

区 分	年間量	月平均	搬入先	台数
燃 や さ な い ご み	1,304.61	108.72	青梅市リサイクルセンター	18,019
容 器 包 装 プ ラ ス チ ッ ク ご み	1,542.44	128.54		
粗 大 ご み	1,408.26	117.35		
ビ ン	715.11	59.59		
ペ ッ ト ボ ト ル	408.90	34.07		
白 色 ト レ イ	11.16	0.93		
小 型 家 電 (回 収 ボ ッ ク ス 分)	1.83	0.15		
廃 食 用 油	2.63	0.22		
陶 磁 器	22.03	1.84		
ガ ラ ス	5.71	0.48		
せ ん 定 枝	537.24	44.77		
合 計	5,959.92	496.66		
古 新 聞	840.86	70.07		
雑 誌 ・ 雑 紙	1,345.45	112.12		
段 ボ ー ル ・ 紙 パ ッ ク	609.58	50.80		
織 維 類	649.59	54.13		
カ ン	312.29	26.02		
合 計	3,757.77	313.14		
総 合 計	9,717.69	809.80	合 計	24,372

イ 処理

(ア) 破碎処理施設・せん定枝等処理施設運転状況

区 分	年 間	月 平 均
破 碎 処 理 施 設	運 転 日 数 (日)	257
	運 転 時 間 (時間:分)	1,213:00
せ ん 定 枝 処 理 施 設	運 転 日 数 (日)	178
	運 転 時 間 (時間:分)	606:18
電 力 使 用 量 (Kwh)	318,309.6	26,525.8

(イ) 内訳

(単位：t)

区 分	年間量	月 平 均
有 価 物 処 理	4,770.60	397.55
容 器 包 装 リ サ イ ク ル 法 処 理	2,383.94	198.66
可 燃 残 渣	1,871.11	155.93
有 害 物 処 理	54.84	4.57
再 生 品 販 売	87.83	7.32
そ の 他	523.81	43.65
合 計	9,692.13	807.68

(ウ) 有価物処理内訳

(単位：t)

区 分		年 間 量	月 平 均	処 理
破 碎	磁 性 物	75.76	6.31	青梅市リサイクル センター
鉄	プ レ ス	60.85	5.07	
自	転 車	29.35	2.45	
ス ト	ー ブ ・ 傘 等	173.36	14.45	
ア ル ミ	プ レ ス	22.25	1.85	
	ガ ラ ニ ウ ム	13.71	1.14	
混 合	有 価 物	226.26	18.86	
生	ビ ン	51.99	4.33	
綿	布 団	5.00	0.42	
羽	毛 布 団	6.34	0.53	
プ ラ ス チ ッ ク	再 利 用 物	66.02	5.50	
家	電 製 品	8.59	0.72	
小	型 家 電	225.21	18.77	
せ ん 定	枝 微 粉 砕	67.49	5.62	
廃	食 用 油	2.63	0.22	
充	電 式 電 池	0.85	0.07	
古	新 聞	840.24	70.02	
雑	誌 ・ 雑 紙	1,344.24	112.02	
段	ボ ー ル ・ 紙 パ ッ ク	607.43	50.62	
織	維 類	649.59	54.13	
カ	ス チ ー ル	140.42	11.70	
	ア ル ミ	153.02	12.75	
合 計		4,770.60	397.55	

※ 空きビン（カレット）、ペットボトル、白色トレイは、下記の容器包装リサイクル法の処理のため含まれない。

ウ 容器包装リサイクル法処理内訳

分別収集したガラスビン（カレット）、プラスチック製容器包装、白色トレイ、ペットボトルのリサイクル（再商品化）を公益財団法人日本容器包装リサイクル協会へ委託した。同協会による品質調査でAランクと認定され、プラスチック製容器包装、白色トレイ、ペットボトルに対し、再商品化合理化拠出金が7,378,687円交付された。また、ペットボトルは有償入札となり16,942,689円で売却した。

(単位：t)

区 分		年 間 量	月 平 均	再 生 処 理 事 業 者 名
カ レ ッ ト	白 色	347.24	28.94	(株)ウィズウェイストジャパン
	茶 色	198.01	16.50	
	そ の 他 色	132.93	11.08	中 建 産 業 (株)
プ ラ ス チ ッ ク 製 容 器 包 装		1,302.88	108.57	(株)エコスファクトリー
白 色 ト レ イ		10.69	0.89	(株)加藤商事
ペ ッ ト ボ ト ル		392.19	32.68	ジ ャ パ ン テ ッ ク (株)
合 計		2,383.94	198.66	

(歳出 4 衛生費)

(3) 主な委託業務

(単位：千円)

委託名称	内 容	金 額	受 注 者	期 間
選別処理業務	粗大ごみおよび燃やさないごみ等の選別処理業務	73,578	(有)青梅クリーンリサイクル	4.1~3.31
適正処理困難物処	人工石等の処理業務	452	(有)青梅クリーンリサイクル他	
青梅市行政回収資源物選別処理	新聞紙等五品目選別処理	45,643	青梅資源リサイクル事業協同組合	
不燃廃棄物運搬資源化処理業務	ガラス・陶磁器類の廃棄物運搬資源化処理業務	3,287	ガラスリソーシング(株)	
可燃残さ運搬	可燃残さ運搬業務	19,918	(有)青梅クリーンリサイクル	
プラスチック圧縮梱包業務	廃プラスチック容器包装等の圧縮梱包業務	32,270		
剪定枝資源化業務	剪定枝資源化施設運転業務	5,139		
容器包装再商品化業務	容器包装プラスチック等の再商品化業務	1,014	(公財)日本容器包装リサイクル協会	
フロンガス処理	冷風機等のフロンガス処理業務	385	(有)青梅クリーンリサイクル	

7 有害ごみ対策経費

(1) 選別および処理の委託

(単位：千円)

委託名称	内 容	金 額	受 注 者	期 間
有害ごみ選別業務	リサイクルセンターへ搬入された乾電池および蛍光灯の選別業務	4,285	(有)青梅クリーンリサイクル	4.1~3.31
廃乾電池処理業務	廃乾電池の処理業務	3,186	野村興産(株)	(搬出日) 7.19、12.1、3.2
水銀含有廃棄物(蛍光灯)処理業務	蛍光灯の処理業務	1,191		(搬出日) 12.1、3.2

(2) 搬入量および搬出量

(単位：t)

区 分	前年度繰越量	搬 入 量	搬 出 量	年度末保管量
乾 電 池	2.75	39.01	39.33	2.43
蛍 光 管	1.39	12.60	12.97	1.02
計	4.14	51.61	52.30	3.45

8 家庭雑排水吸込槽清掃費助成経費

家庭雑排水吸込槽清掃費補助金

件 数	金 額	許 可 業 者	備 考
0	0円	青梅新興(株)	補助する額は、清掃経費の2分の1の額とし、9,600円を限度額とする

9 し尿収集経費

(1) し尿くみ取り業務委託

(単位：千円)

区 域	金 額	受 注 者	期 間	備 考
市 内 全 域 (御岳山を除く)	47,286	青梅新興(株)	4.1~3.31	1ヶ月当たり3,940,471円 (消費税込)
御 岳 山	8,978			1kgにつき32.64円(消費税込) およびし尿管点検環境整備

(2) し尿くみ取り加入件数

一般占有者	特 殊 占 有 者				合 計
	くみ取り式 水洗便所	アパート・寮等	事 業 所	計	
787	431	2	463	896	1,683

(3) し尿年間収集状況

(単位：L)

区 分	年 間	
	件 数	収 集 量
一 般	5,866	673,960
特 殊 (水 洗)	1,135	304,070
特 殊 (事 業 所)	1,263	429,660
御 岳 山	124	254,600
浄 化 槽 汚 泥	835	2,664,750
合 計	9,223	4,327,040

10 し尿処理経費

(1) 青梅市し尿処理施設管理運営懇談会

ア 青梅市し尿処理施設管理運営懇談会委員

区 分	氏 名	役 職	区 分	氏 名	役 職
会 長	水 村 邦 男	黒沢1丁目第2自治会代表	委 員	水 村 初 男	黒沢1丁目第2自治会代表
会長職務代理	水 村 匡 弘	黒沢1丁目第2自治会代表	〃	小 村 建 一	処 理 事 業 者 代 表
委 員	小 村 明	黒沢1丁目第2自治会代表	〃	築 地 國 雄	処 理 事 業 者 代 表

任期：平成28年7月1日～平成30年6月30日

イ 懇談会開催状況

開 催 日	内 容
2.7	(1)し尿処理場の運営状況について (2)施設の改修について

(歳出 4 衛 生 費)

(2) し尿処理業務委託

(単位：千円)

区 分	金 額	受 注 者	期 間	備 考
し 尿 処 理	19,082	青梅新興(株)	4.1~3.31	1,000kg10,000円×1,908,030kg
脱 水 処 理	8,119			1,000kg3,400円×2,387,210kg
脱水ケーキ運搬処分	4,241			1 t 32,500円×130.50 t
定 期 点 検	32,118			
脱水汚泥分析試験	770			
合 計	64,330			

(3) し尿処理施設処理状況

区 分	青 梅 市	福 生 市	瑞 穂 町	合 計
投 入 量 (kg)	1,524,280	80,030	303,720	1,908,030
投 入 割 合 (%)	79.9	4.2	15.9	100.0
焼却残渣処分量 (kg)	2,870	160	580	3,610
焼却残渣処分割合 (%)	79.5	4.4	16.1	100.0

(4) 汚泥汚水脱水処理施設処理状況

区 分	青 梅 市	福 生 市	合 計
投 入 量 (kg)	2,833,350	54,090	2,887,440
投 入 割 合 (%)	98.1	1.9	100.0
脱水ケーキ処分量 (t)	152.78	2.92	155.70
脱水ケーキ処分割合 (%)	98.1	1.9	100.0

(5) 施設管理

名 称	金 額	受 注 者	期 間
青梅市し尿処理場自家用電気工作物保安管理業務委託	311千円	(-財)関東電気保安協会	4.1~3.31

11 浄化槽清掃料金軽減措置経費

浄化槽清掃料補助金交付状況

(単位：千円)

区 分	件 数	金 額
ば っ き 型	31	298
腐 敗 型	2	24
小 型 合 併 型	51	775
合 計	84	1,097

12 リサイクルセンター管理経費

(1) 主な委託業務

(単位：千円)

委託名称	内 容	金 額	受 注 者	期 間
日 常 清 掃	日常清掃業務	622	(公社)青梅市シルバー人材センター	4.1～3.31
警 備 業 務	建物警備業務	492	セコム(株)	
屋 外 清 掃	屋外清掃業務	395	(有)青梅クリーンリサイクル	
破 碎 施 設 総 合 設 備 点 検	破碎処理施設の総合的な点検業務	5,940	メタウォーター(株)	5.30～10.31
コンパクタ等設備 保 守 点 検	機器の保守点検設備業務	1,864	新明和工業(株)	5.18～3.31
クレーン設備点検	天井クレーン等の保守点検業務	1,002	(株)日立プラントメカニクス	5.29～3.31
搬送コンベヤ等 清 掃	搬送コンベヤ等清掃業務	7,165	(有)青梅クリーンリサイクル	4.1～3.31
消 防 用 設 備 保 守 点 検	消防用設備保守点検業務	443	(株)星光	
自家用電気工作物 保 安 管 理	自家用電気工作物の保安管理業務	580	(一財)関東電気保安協会	
各集水ピット汚泥 引 抜 お よ び 清 掃	各集水ピットの汚泥引抜と清掃および水質検査の業務	864	(株)環境システムサービス	8.8～3.31
粗大ごみ受入れ コンベヤ等清掃	粗大ごみ受入れコンベヤ等清掃業務	886	(株)菱和実業	7.4～3.31

(2) 主な修繕

(単位：千円)

修繕名称	内 容	金 額	受 注 者	期 間
破 袋 機 修 繕	破袋機部品の交換	3,618	メタウォーター(株)	8.4～12.8
粗大ごみコンベヤ 修 繕	粗大ごみコンベヤ部品の交換	1,782	(株)菱和実業	5.11～6.18
自動マルチコンパ ク タ 緊 急 修 繕	油圧ポンプの交換	1,971	メタウォーター(株)	7.3～8.31
粗大ごみ破碎機刃 交 換 修 繕	刃の交換	2,214		8.24～12.21
剪定枝資源化用 植 織 機 緊 急 修 繕	植織機部品の交換	1,446	(株)アーステクニカ	11.20～2.9

13 御岳山ごみ処理施設管理経費

(1) 委託先

受 注 者	金 額	期 間	備 考
御岳山自治会	943千円	4.1～3.31	排出される生ごみを必要に応じ、市が設置した生ごみ処理機で処理する

(2) 生ごみ処理量

(単位：kg)

1・4号機(氷川道)	2号機(神社下)	3号機(番場前)	計
9,784	7,743	3,716	21,243

(歳出 4 衛 生 費)

14 西多摩衛生組合経費

(単位：円)

区分	組合 総負担金	算出率	負担割合	算出額	前年度 繰越金	調整額	青梅市 負担金
事務費	137,385,000	1/2 均等割	1/4	17,173,125	2,726,077	△978	47,233,000
		1/2 人口割	47.73%	32,786,930			
地元補償金	羽村市へ 32,000,000	20/100均等割	1/3	2,133,333	0	240	25,366,000
		80/100人口割	※1 59.51%	15,234,561			
	瑞穂町へ 16,000,000	20/100均等割	1/3	1,066,667			
		80/100人口割	※2 54.15%	6,931,199			
余熱利用 施設事業費	103,895,000	人口割	47.73%	49,589,083	3,018,818	△265	46,570,000
じんかい 処理費	1,153,522,000	実績投入	46.71%	538,810,126	50,289,863	737	488,521,000
公債費	150,357,000	人口割	47.73%	71,765,396	1,475	79	71,764,000
合 計							679,454,000

※1 羽村市を除いた2市1町での青梅市の人口割合

※2 瑞穂町を除いた3市での青梅市の人口割合

15 東京たま広域資源循環組合経費

(単位：千円)

区分	組合総負担金	算出率	負担割合	算出額	青梅市 負担金
管理費	385,495	1/4 均等割	1/26	3,706	13,350
		3/4 人口割	※2 3.3352445%	9,644	
事業費	谷戸沢処分場事業費 685,509	搬入比率	※3 3.8643791%	26,491	26,491
	二ツ塚処分場事業費 ※1				81,952
	建設管理費 2,114,035	搬入実績比率	※4 3.8765554%	81,952	
	エコセメント事業費				213,891
	施設建設費 1,412,398	搬入実績比率	※5 3.4485269%	48,707	
	固定費 935,750	1/4均等割	1/26	8,997	
		3/4人口割	※2 3.3352445%	23,408	
	変動費（湿灰分） 2,335,166	搬入実績比率	※6 1.0507649%	24,537	
	変動費（乾燥灰分） 670,969	搬入実績比率	※7 11.9834444%	80,405	
	修繕費 （湿灰・乾燥灰共用設備分） 763,299	搬入実績比率	※8 3.5460673%	27,067	
修繕費 （乾燥灰専用設備分） 5,006	搬入実績比率	※9 15.3761126%	770		
減容化計画精算額					△1,833
合 計					333,851

- ※ 1 埋立処分費は、平成27年度青梅市未搬入のため負担なし
- ※ 2 構成市町全体の人口4,091,814人のうち青梅市の人口136,472人
- ※ 3 搬入比率（26団体 2,589,600m³、青梅市 100,072m³）
- ※ 4 搬入実績比率（26団体 1,177,824m³、青梅市 45,659m³）
- ※ 5 搬入実績比率（26団体 1,607,121 t、青梅市 55,422 t）
- ※ 6 搬入実績比率（26団体 60,337 t、青梅市 634 t）
- ※ 7 搬入実績比率（13団体 15,463 t、青梅市 1,853 t）
- ※ 8 搬入実績比率（26団体 976,321 t、青梅市 34,621 t）
- ※ 9 搬入実績比率（13団体 121,227 t、青梅市 18,640 t）

16 リサイクルセンター施設整備経費

工 事 名 称	工 事 内 容	金 額	受 注 者	契 約 工 期
青梅市リサイクルセンター計量機増設工事	西門付近に埋込型計量機および無人屋外操作盤を設置	15,675千円	(株)ワーク衡業	12.8~3.16

17 し尿処理施設整備経費

(1) し尿処理施設整備事業

(単位：千円)

委 託 名 称	金 額	受 注 者	契 約 期 間
登記嘱託書類等作成委託	138	持田設計(株)	7.3~7.20
公共用地境界図作成委託	120		8.18~9.19
青梅市し尿処理場基幹的設備改良工事 公募型プロポーザル発注支援業務委託	3,240	(株)環境技術研究所 東京支店	4.1~3.31
合 計	3,498		

(2) 債務負担にもとづくし尿処理施設整備事業（平成29、30年度債務負担）

ア 委託

(単位：千円)

委 託 名 称	契約金額	29年度 支払額	30年度 支払予定額	受 注 者	契 約 期 間
青梅市し尿処理場基幹的 設備改良工事監理委託	16,200	4,800	11,400	(株)環境技術研 究所東京支店	29.10.3 ~31.3.15

イ 工事

(単位：千円)

工 事 名 称	契約金額	29年度 支払額	30年度 支払予定額	受 注 者	契 約 工 期
青梅市し尿処理場基幹的 設備改良工事	594,000	100,000	494,000	日立造船(株) 東京本社	29.9.29 ~31.3.15

(歳出 4 衛 生 費)